
DBCLSで提供している文献情報サービスほか

ライフサイエンス統合データベースセンター
山本 泰智 (@yayamamo)



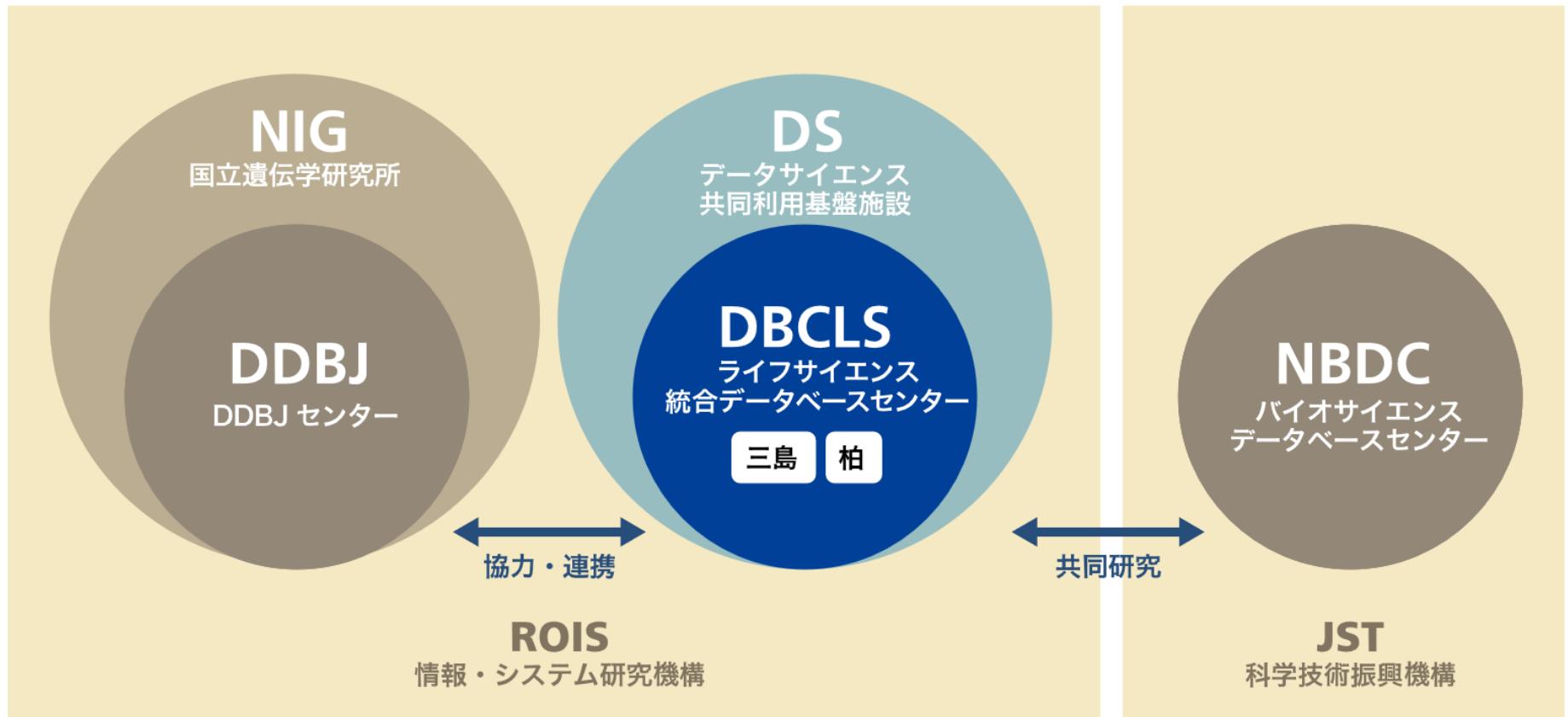


大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設
ライフサイエンス統合データベースセンター

Database Center for Life Science

取り組む課題

- 散在しているDBの所在情報や利用法の周知
- 成果の公開および共有の促進
- 人材育成、プロジェクト終了後の維持など



体制

スタッフ



センター長
小原 雄治 KOHARA Yuji, PhD

研究員: 20名
事務/SE: 5名

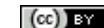
+

客員部門・研究協力者: 3名

+

募集中! 2/15 (金) 17時応募締切

<https://ds.rois.ac.jp/post-2915/>
<https://ds.rois.ac.jp/post-2917/>



ライフサイエンス統合データベースセンター

- 2006 5 ライフサイエンス委員会データベース整備戦略作業部会が「[我が国におけるライフサイエンス分野のデータベース整備戦略のあり方について](#)」を発表
- 2006 9 文部科学省ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業開始
- 2007 4 ライフサイエンス統合データベースセンター 設立
初代センター長 高木利久 就任
情報・システム研究機構が統合データベースプロジェクトの中核機関として事業を受託（期間4年）
- 2009 1 ライフサイエンス委員会ライフサイエンス情報基盤整備作業部会が「[ライフサイエンスデータベースの統合・維持・運用の在り方](#)」を発表
- 2009 4 JSTライフサイエンス分野 統合データベースセンター設置準備スタート
- 2010 10 第2代センター長 米澤明憲 就任
- 2011 4 [JSTバイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）設立](#)
JSTライフサイエンスデータベース統合推進事業 開始
「基盤技術開発プログラム」を情報・システム研究機構が受託（期間3年）
- 2012 4 第3代センター長 小原雄治 就任
情報・システム研究機構が「[ライフサイエンス統合データベースの推進方策について（報告）](#)」を発表
- 2012 7 NBDCが「[ライフサイエンス分野の統合データベース整備の第二段階のあり方について](#)」を発表
- 2014 3 東大柏の葉キャンパス駅前サテライト、国立遺伝学研究所（静岡県三島市）に移転
- 2014 4 NBDC「[統合データベースにおける基盤技術開発とデータベース運用に係る共同研究](#)」開始
- 2016 4 情報・システム研究機構にデータサイエンス共同利用基盤施設設置、DBCLSはこの傘下に
- 2017 12 JSTバイオサイエンスデータベースセンター基盤技術分科会による共同研究の評価

本郷キャンパス 学生相談所

本郷アクセスマップ



ページのプリント ウィンドウを閉じる

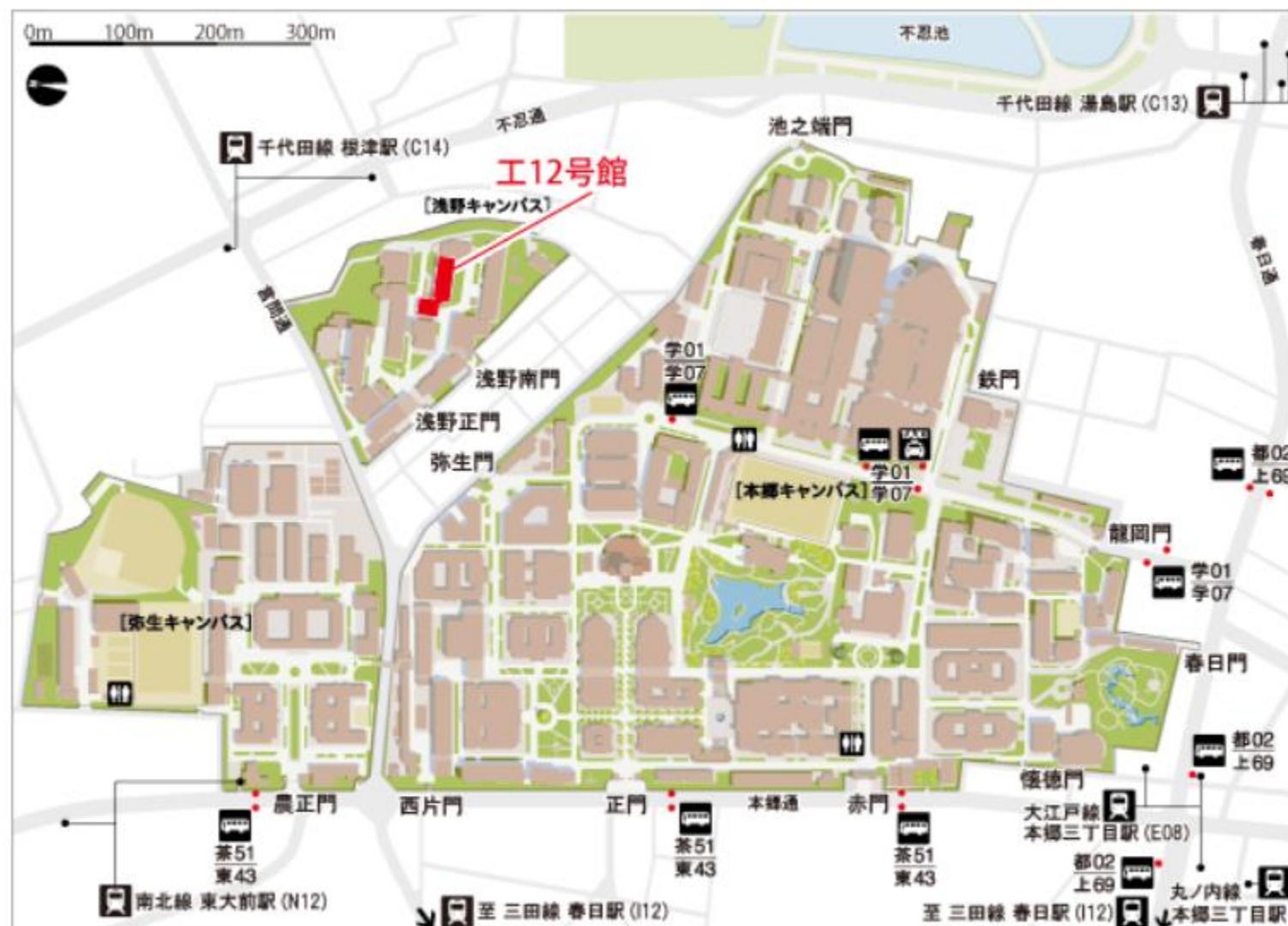
Last updated:09.08.2018

お問い合わせは 本部広報課 まで ©東京大学

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_08_j.html

本郷キャンパス 工12号館

➡ 本郷アクセスマップ

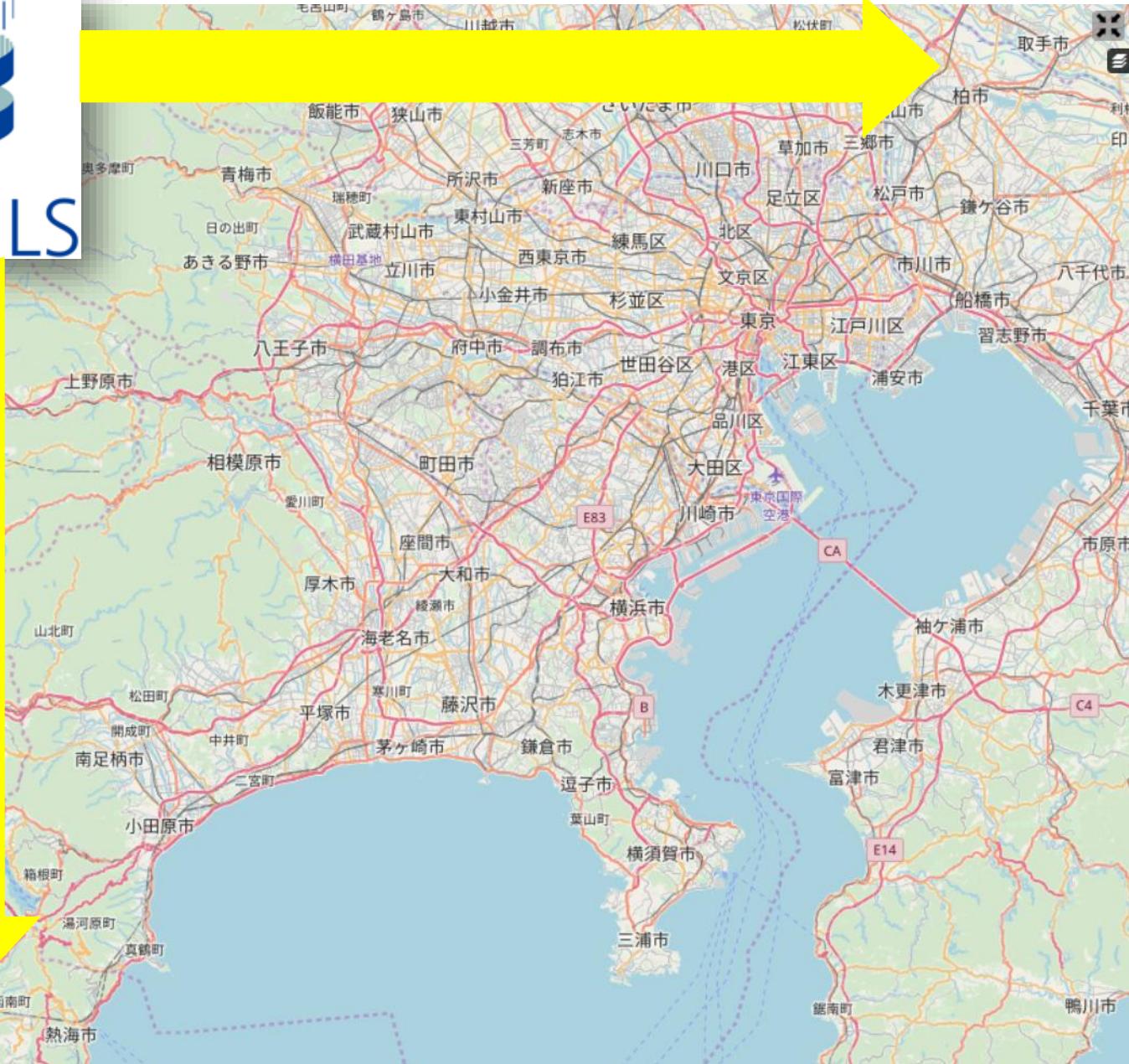


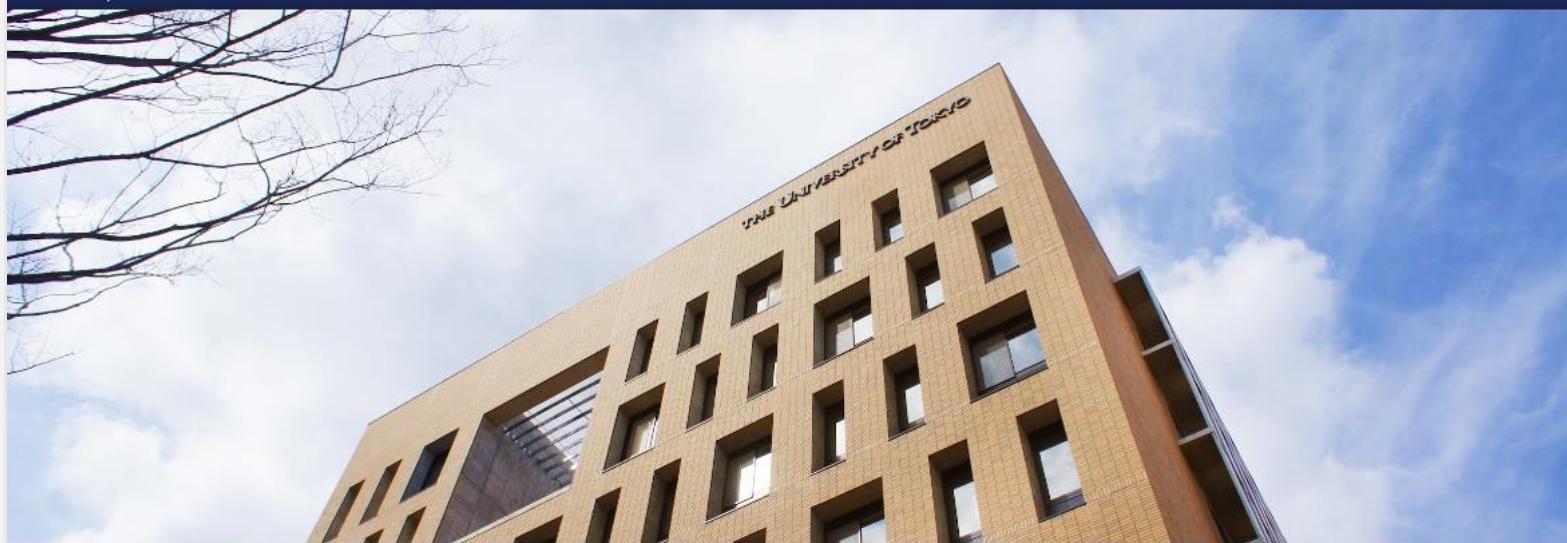
□ ページのプリント × ウィンドウを閉じる

Last updated:09.08.2018

お問い合わせは 本部広報課 まで ©東京大学

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_13_j.html





News

2019.01.21

[NBDC RDF portal に関する論文が Database 誌に掲載されました](#)

当センターの川島秀一特任助教、片山俊明特任助教が参加する研究グループによる論文、「NBDC RDF ...

● 広報 ● サービス

2019.01.18

[セマンティック・ウェブによるゲノムデータベース TogoGenome と分散可視化フレームワーク TogoStanza に関する論文が Database 誌に掲載されました](#)

当センターの片山俊明特任助教、川島秀一特任助教、岡本忍特任准教授、守屋勇樹特任助教、千葉啓和特任助教...

● 広報 ● サービス

2019.01.09

[データサイエンス共同利用基盤施設ライフサイエンス統合データベースセンター有期雇用職員募集（〆2/15（金）17時）](#)

詳細については、【リンク先】をご覧ください。...

● 募集

2018.12.27

[データサイエンス共同利用基盤施設ライフサイエンス統合データベースセンター学術支援専門員募集（〆1/31（木）17時）](#)

詳細については、【リンク先】をご覧ください。...

● 募集

2018.12.26

[All-in-one合同講習会2018／統合データベース講習会：AJACS番町2\(2019年1月28日\)の参加者募集中です](#)

JST東京本部別館（東京都千代田区）にてAll-in-one合同講習会2018／統合データベース講...

● 広報 ● 募集

<http://www.dbcls.rois.ac.jp/>

more

開催イベント一覧

2018. 11. 22 [日本分子生物学会（11月28-30日@横浜）にてDBCLS研究員がオーガナイザーを務めるイベントについて](#)

第41回日本分子生物学会年会では当センターの研究員がオーガナイザーを務めるイベントが以下の通り開催さ...

●広報 ●イベント

Event

2018. 11. 22 [第41回日本分子生物学会年会にブース出展をします](#)

11月28-30日に横浜で開催される第41回分子生物学会の BioDBコーナーにおいてブースを出展し...

●イベント ●広報

 more

DBCLSでは、国内外の生命科学研究者を対象とした様々なイベントを開催しているほか、学会や研究会での広報活動も行っています。その内容は、データベース構築者向けの技術勉強会から、実験研究者向けのデータベース講習会まで、多岐にわたります。

BioHackathon

DBCLSとNBDCが主催するライフサイエンス分野におけるデータベース統合のための技術開発を行う国際開発者会議です。

 more

SPARQLthon

SPARQLthonはライフサイエンス分野におけるセマンティック・ウェブの技術情報交流・共同研究開発を目的として毎月開催されています

 more

RDF summit

ゲノム表現の標準化など特定の目的にフォーカスした小規模かつ重点的なハッカソンです

 more

RDF講習会

統合データベースを支えるセマンティック・ウェブ技術の講習会です。

 more

ゲノムグラフ研究会

多数のゲノムをグラフとして束ねて統一的に扱うゲノムグラフ技術に関する研究会です。

 more

オープンバイオ研究会

オープンソースで開発されるバイオインフォマティクスのソフトウェアに関する研究会です。

 more

About

BioHackathon 2018
BioHackathon 2017
BioHackathon 2016
BioHackathon 2015
BioHackathon 2014
BioHackathon 2013
BioHackathon 2012
BioHackathon 2011
BioHackathon 2010
BioHackathon 2009
BioHackathon 2008

Google Groups
BioHackathon
Join this group



About

National Bioscience Database Center (NBDC) and Database Center for Life Science (DBCLS) have been organizing annual BioHackathon since 2008, mainly focusing on standardization and interoperability of bioinformatics data and web services for improving integration, preservation and utilization of databases in life sciences.

Next BioHackathon:

- The 1st EU [ELIXIR BioHackathon 2018](#) in Paris (Nov 12-16 2018).
- The 11th NBDC/DBCLS [BioHackathon 2018](#) in Matsue, Japan (Dec 9-15 2018).

BioHackathons have been hosted by [DBCLS](#) (since 2008) and jointly hosted by [NBDC/JST](#) (since 2011).

Past BioHackathons:

- [BioHackathon 2017](#) @ Tokyo and Morioka, Japan (Sep 9-16, 2017)
 - 10 years anniversary of the BioHackathon
- [BioHackathon 2016](#) @ Tsuruoka, Yamagata, Japan (Jun 12-18, 2016)
 - Standardization and utilization of multi-omics information for life sciences
- [BioHackathon 2015](#) @ Nagasaki, Japan (Sep 13-19, 2015)
 - Standardization and utilization of medical and genome information for life sciences
- [BioHackathon 2014](#) @ Miyagi, Japan (Nov 9-14, 2014)
 - Standardization and utilization of human genome information with Semantic Web technologies
- [BioHackathon 2013](#) @ Tokyo, Japan (Jun 23-24, 2013)
 - Semantic Interoperability and standardization of bioinformatics data and Web services.
- [BioHackathon 2012](#) (PMID:24495517) @ Toyama, Japan (Sep 2-7, 2012)
 - Biomedical applications based on the Semantic Web technologies.
- [BioHackathon 2011](#) (PMID:24495517) @ Kyoto, Japan (co-hosted by Bioinformatics Center, Kyoto University)
 - Generation and utilization of Linked Data.
- [BioHackathon 2010](#) (PMID:23398680) @ Tokyo, Japan (in DBCLS)
 - Integration and interpretation of biological knowledge with the Semantic Web technologies.
- [BioHackathon 2009](#) (PMID:21806842) @ Okinawa, Japan (co-hosted by JST)
 - Integration of web services in bioinformatics applications.
- [BioHackathon 2008](#) (PMID:20727200) @ Tokyo, Japan (co-hosted by CBRC)
 - Towards integrated web service in life science with Open Bio* libraries.



コメント

コメントを追加する場合は、このボックスに記入して下さい。

<http://biohackathon.org/>

案内

- メインページ
- コミュニティ・ポータル
- 最近の出来事
- 最近の更新
- おまかせ表示
- ヘルプ

検索

ツールボックス

- リンク元
- 関連ページの更新状況
- 特別ページ
- 印刷用バージョン
- この版への固定リンク

メーリングリスト

次回開催のご案内、日程調整の連絡、関連する議論などは [国内版バイオハッカソンのメーリングリスト](#) (で、興味ある方は各自ご登録頂ければと思います。なお、このメーリングリストは、国内版バイオハッカソン登録されており、参加や退会は自由、投稿内容は参加者だけに公開となっています)。

参加者募集

年1回開催の [国際版 BioHackathon](#) や国内版バイオハッカソンでは、様々な進捗がありますが未完成: SPARQLthon は月1回定期的に顔を合わせることでこれを補完し、立ちあげたプロジェクトをモチベーションを出すプロトコルとして有効に機能していると思います。アカデミック・企業・デザイナーなど野からの参加者同士の交流が進むことにより、まだなかなか見つけることの難しいセマンティック・ウェブの醸成などにも役立つ場となっています。

ハッカソン (SPARQLthon) 形式での会議開催のメリットは、関係者が直接顔を合わせて集中的に取り組みます。

- 話が早い
- その場で仕事が進む
- 新しい人脈との交流が広がる

といったことが挙げられるかと思います。SPARQLthon は、ライフサイエンスにおけるセマンティック・自由に参加して頂ける会です。会場確保の都合で参加登録をお願いすることもあるかと思いますので、参

開催目的

- オントロジーの開発
- RDF の設計と生成
- トリブルストアの調査と運用
- SPARQL 検索スキルの向上とノウハウの共有
- SPARQL 結果のハンドリングと可視化技術
- マッシュアップによるアプリケーションの開発
- セマンティック・ウェブのための UI デザイン

統合化推進プログラム

RDF 開発

- データベース RDF 化ガイドライン (旧 MediaWiki バージョン) ([旧 MediaWiki バージョンドラフト](#))
- RDF ポータルのスキマ図作成用ライブラリ ([ファイルをダウンロードした後、draw.io で「Find」を選択する](#))
- RDF ポータルのスキマ図作成用ライブラリ (旧バージョン) [\(PDF\)](#)

統合化推進プログラム (TPP) の RDF 化支援

- 生物種メタボロームモデル・データベースの構築 (有田)
- ゲノムピエノタライブ・疾患・医薬品の統合データベース (金久)
- ゲノム・メタゲノム情報統合による微生物 DB の超高度化推進 (黒川)
 - BioSample データのキュレーション
- 疾患ヒゲノム異常の生物学的機能分析を目指した多職種オミクスデータの統合 (菅野)
- 植物ゲノム情報活用のための統合研究基盤の構築 (田辯)
- 個別化医療に向けたヒトゲノム (リエーション) (徳永)
- 蛋白質構造データバンクの高度化と統合的運用 (中村)
- 糖鎖科学ポータルの構築 (木下)
 - 糖鎖統合データベースおよび国際糖鎖構造リポジトリの開発 (成松)
- 生命と環境のフェノーム統合データベース (柳屋)
- 生命動態システム科学のデータベースの統合化 (大浪)

<http://wiki.lifesciencecenter.jp/mw/SPARQLthon>



Article attributes

Associated Data
Author manuscripts
Digitized back issues
MEDLINE journals
Open access
Retracted

Text availability
Include embargoed articles

Publication date
1 year
5 years
10 years
Custom range...

Research Funder
NIH
AHRQ
ACL
ASPR
CDC
DHS
EPA
FDA
NASA
NIST
VA
Customize ...

[Clear all](#)[Show additional filters](#)

Display Settings: ▾ Summary, 20 per page, Sorted by Default order

Send to: ▾

Filter your results:

All (57)

NIH grants (11)

Embargoed (0)

[Manage Filters](#)

Search results

Items: 1 to 20 of 57

<< First < Prev Page 1 of 3 Next > Last >>

- [The 3rd DBCLS BioHackathon: improving life science data integration with Semantic Web technologies](#)

Toshiaki Katayama, Mark D Wilkinson, Gos Micklem, Shuichi Kawashima, Atsuko Yamaguchi, Mitsuteru Nakao, Yasunori Yamamoto, Shinobu Okamoto, Kenta Oouchida, Hong-Woo Chun, Jan Aerts, Hammad Afzal, Erick Antezana, Kazuharu Arakawa, Bruno Aranda, Francois Belleau, Jerven Bolleman, Raoul JP Bonnal, Brad Chapman, Peter JA Cock, Tore Eriksson, Paul MK Gordon, Naohisa Goto, Kazuhiro Hayashi, Heiko Horn, Ryosuke Ishiwata, Eli Kaminuma, Arek Kasprzyk, Hideya Kawaji, Nobuhiro Kido, Young Joo Kim, Akira R Kinjo, Fumikazu Konishi, Kyung-Hoon Kwon, Alberto Labarga, Anna-Lena Lamprecht, Yu Lin, Pierre Lindenbaum, Luke McCarthy, Hideyuki Morita, Katsuhiko Murakami, Koji Nagao, Kozo Nishida, Kunihiro Nishimura, Tatsuya Nishizawa, Soichi Ogishima, Keiichiro Ono, Kazuki Oshita, Keun-Joon Park, Pjotr Prins, Taro L Saito, Matthias Samwald, Venkata P Satagopam, Yasumasa Shigemoto, Richard Smith, Andrea Splendiani, Hideaki Sugawara, James Taylor, Rutger A Vos, David Withers, Chisato Yamasaki, Christian M Zmasek, Shoko Kawamoto, Kosaku Okubo, Kiyoshi Asai, Toshihisa Takagi

J Biomed Semantics. 2013; 4: 6. Published online 2013 Feb 11. doi: 10.1186/2041-1480-4-6

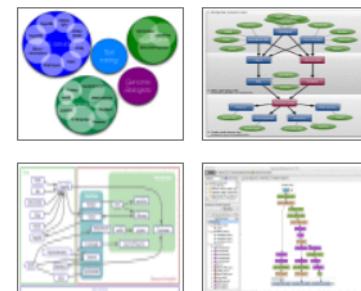
PMCID: PMC3598643

[Article](#) [PubReader](#) [PDF-2.0M](#) [Citation](#)

- [The 2nd DBCLS BioHackathon: interoperable bioinformatics Web services for integrated applications](#)

Toshiaki Katayama, Mark D Wilkinson, Rutger Vos, Takeshi Kawashima, Shuichi Kawashima, Mitsuteru Nakao, Yasunori Yamamoto, Hong-Woo Chun, Atsuko Yamaguchi, Shin Kawano, Jan Aerts, Kiyoko F Aoki-Kinoshita, Kazuharu Arakawa, Bruno Aranda, Raoul JP Bonnal, José M Fernández, Takatomo Fujisawa, Paul MK Gordon, Naohisa Goto, Syed Haider, Todd Harris, Takashi Hatakeyama, Isaac Ho, Masumi Itoh, Arek Kasprzyk, Nobuhiro Kido, Young-Joo Kim, Akira R Kinjo, Fumikazu Konishi, Yulia Kovarskaya, Greg von Kuster, Alberto Labarga, Vachiranee Limviphuvadh, Luke McCarthy, Yasukazu Nakamura, Yunsun Nam, Kozo Nishida, Kunihiro Nishimura, Tatsuya Nishizawa, Soichi Ogishima, Tom Oinn, Shinobu Okamoto, Shujiro Okuda, Keiichiro Ono, Kazuki Oshita, Keun-Joon Park, Pjotr Prins, Taro L Saito, Matthias Samwald, Venkata P Satagopam, Yasumasa Shigemoto, Richard Smith, Andrea Splendiani, Hideaki Sugawara, James Taylor, Rutger A Vos, David Withers, Chisato Yamasaki, Christian M Zmasek, Shoko Kawamoto, Kosaku Okubo, Kiyoshi Asai, Toshihisa Takagi

PMC Images search for biohackathon

[See more \(16\)...](#)

Find related data

Database: Select

[Find items](#)

Search details

biohackathon[All Fields]



Comment | OPEN | Published: 26 June 2018

A design framework and exemplar metrics for FAIRness

Mark D. Wilkinson , Susanna-Assunta Sansone , Erik Schultes, Peter Doorn, Luiz Olavo Bonino da Silva Santos & Michel Dumontier

Scientific Data 5, Article number: 180118 (2018) | Download Citation

The FAIR Principles¹ (<https://doi.org/10.25504/FAIRsharing.WWI1OU>) provide guidelines for the publication of digital resources such as datasets, code, workflows, and research objects, in a manner that makes them Findable, Accessible, Interoperable, and Reusable (FAIR). The Principles have rapidly been adopted by publishers, funders, and pan-disciplinary infrastructure programmes and societies. The Principles are aspirational, in that they do not strictly define how to achieve a state of "FAIRness", but rather they describe a continuum of features, attributes, and behaviors that will move a digital resource closer to that goal. This ambiguity has led to a wide range of interpretations of FAIRness, with some resources even claiming to already "be FAIR"! The increasing number of such statements, the emergence of subjective and self-assessments of FAIRness^{2,3}, and the need of data and service providers, journals, funding agencies, and



Search



E-alert



Submit



Login

Download PDF

0
Citations87
Altmetric

Article metrics >

A design framework and exemplar metrics for FAIRness

Acknowledgements

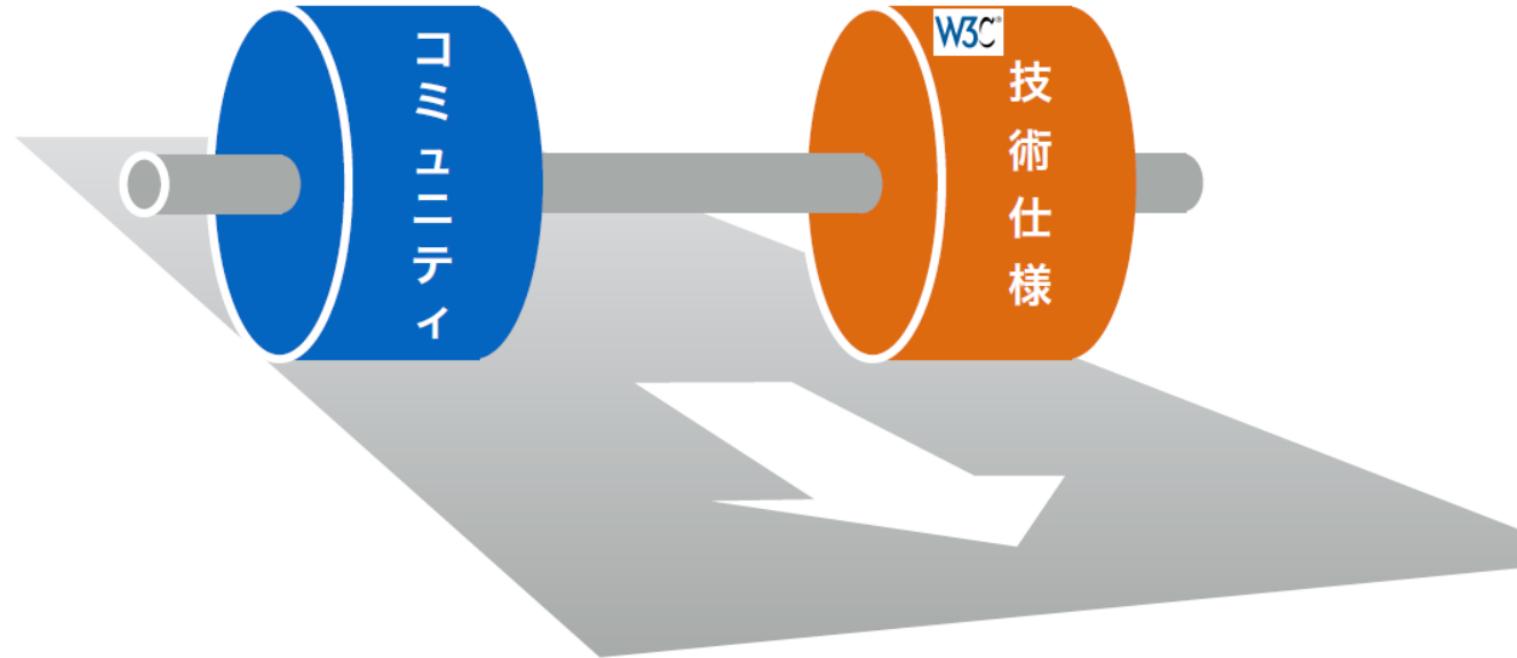
We thank all colleagues with whom we discussed the creation and application of the FAIR Metrics; S.-A.S. wants to thank especially Myles Axton, Jennifer Boyd, Helena Cousijn, Scott Edmunds, Emma Ganley, Rebecca Lawrence, Thomas Lemberger, Robert Kiley, Michael Markie and Jonathan Tedds for their perspective on the metrics as journal editors and publishers, and their contribution to FAIRsharing. We thank the NBDC/DBCLS BioHackathon series where many of these metrics were designed, and the FAIRsharing team. We also acknowledge the effort made by the reviewer-testers of the Metrics: Julian Gautier (Dataverse Network, Harvard), Derek Murphy (Harvard), Annika Jacobsen (LUMC, Leiden University), Rajaram Kaliyaperumal (LUMC, Leiden University), Mateusz Kuzak (Dutch Techcenter for Life Sciences), Carlos Martinez-Orti (Netherlands eScience Center), Katherine Thorton (Yale), Kenneth Seals-Nutt (Yale), Eric Weitz (Broad Institute), Timothy Tickle (Broad Institute), Jonathan Bistline (Broad Institute), Peter Thijssse (MARIS BV), Andra Waagmeester (Micelio). The authors received no specific funding for this work, but they want to acknowledge funds supporting them and their research activities. M.D.W. is supported, in part, by the



CC BY

ライフサイエンス統合データベースセンター

コミュニティの重要性



技術仕様とコミュニティは、
次世代データインフラを実現するための車の両輪

トーゴーの日 2016、川島 秀一 「NBDC RDFポータルが目指す、次世代データ統合利用基盤」より

RDFizingDatabaseGuideline

目次 [非表示]

- [1 データベースのRDF化ガイドライン](#)
 - [1.1 はじめに～Linked Data構想](#)
- [2 データベースコンテンツをRDF化する際のガイドライン](#)
 - [2.1 URIを設計する際のガイドライン](#)
 - [2.1.1 永続性の高いURIを利用する](#)
 - [2.1.2 リソースを示すURIはそれを識別するためのIDをURIの末尾に記述する](#)
 - [2.2 RDFを作成する際のガイドライン](#)
 - [2.2.1 URIリソースはオントロジーのクラスのインスタンスとして定義する](#)
 - [2.2.2 URIリソースにラベルをつける](#)
 - [2.2.3 URIリソースにIDラベルをつける](#)
 - [2.2.4 他のデータセットへのリンクをつける](#)
 - [2.2.5 文献情報へのリンクをつける](#)
 - [2.2.6 データにメタ情報をつける](#)
 - [2.2.7 画像へのリンク](#)
 - [2.2.8 URI、空白ノード、リテラルの使い分けを適切に行う](#)
 - [2.2.9 URIにはバージョンを含めない](#)
 - [2.3 オントロジーを利用・構築する際のガイドライン](#)
 - [2.3.1 既存のオントロジーを再利用する](#)
 - [2.3.2 新規にオントロジーを構築する](#)
 - [2.3.3 プロパティにdomainとrangeを定義する](#)
 - [2.3.4 オントロジーのクラスやプロパティの説明を適切に行う](#)
 - [2.4 RDFを提供する際のガイドライン](#)
 - [2.4.1 定期的なリリースとバージョン情報](#)
 - [2.4.2 ライセンス情報をつける](#)
 - [2.4.3 スキーマ図を提供する](#)
 - [2.4.4 SPARQLサンプルを提供する](#)
 - [2.4.5 SPARQLエンドポイントを公開する際はCORS対策を行う](#)
 - [2.4.6 生命科学のLinked Dataを公開する際の10のルール](#)
- [3 生命科学で利用しやすいRDFモデル](#)
 - [3.1 測定項目および測定値の記述方法](#)
 - [3.1.1 単位のついた値の記述方法](#)
 - [3.2 画像へのリンク](#)
- [4 参考URL](#)
 - [4.1 RDF化を支援するツール](#)
 - [4.2 RDF化の際に参考になるサイト](#)

<http://wiki.lifescienceedb.jp/mw/RDFizingDatabaseGuideline>

D2RQ Mapper



D2RQ Mapper

[Sign in](#)[Sign in with !\[\]\(11b47853efe756d31c268612c0cc4217_img.jpg\)](#)[Sign in with !\[\]\(9f63f5ec98cc2eddf66038fdc55c1091_img.jpg\)](#)

or

[Create account](#)

Welcome to D2RQ Mapper

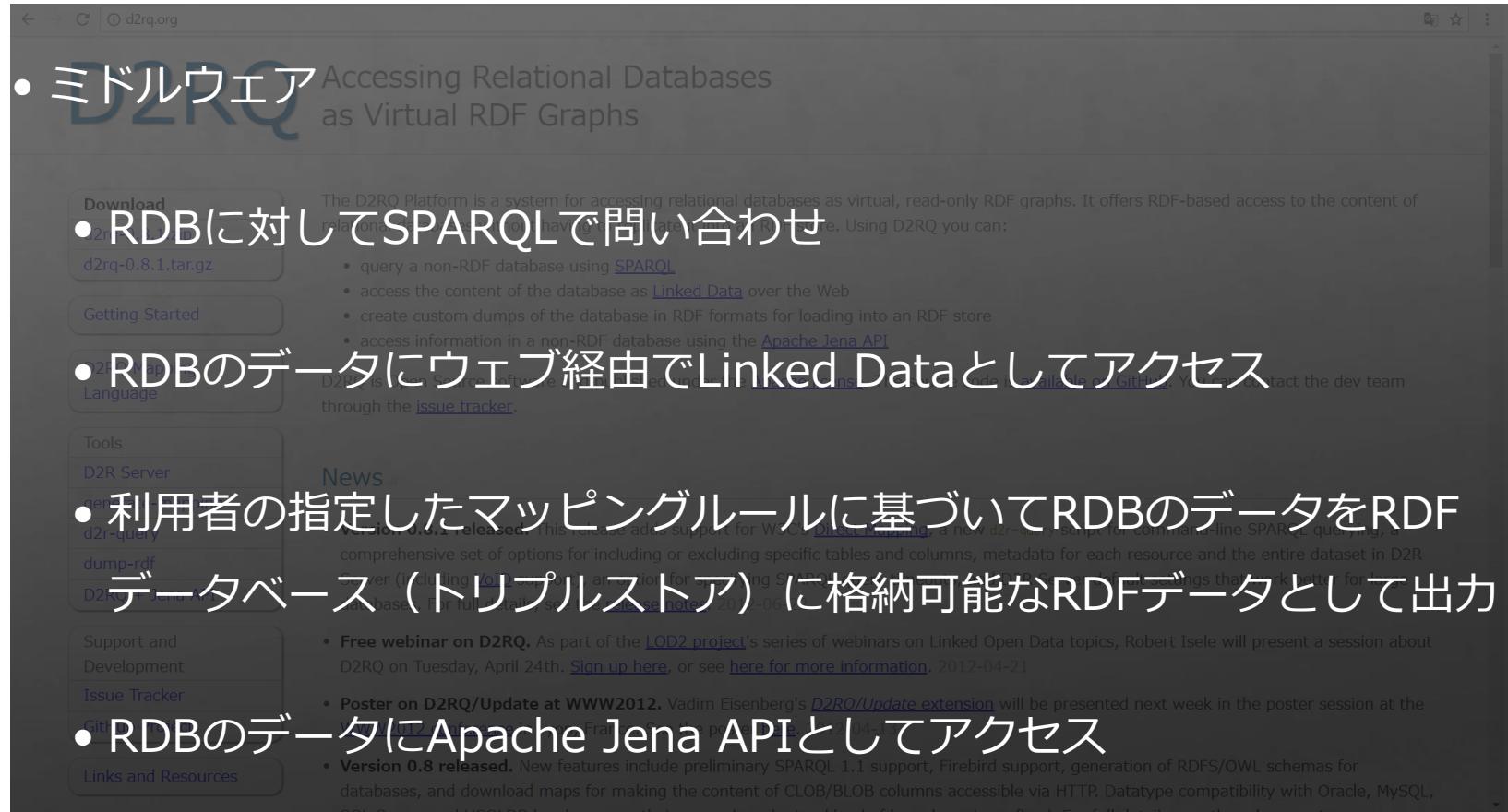
To fully utilize data stored in the RDB (relational database) in the Semantic Web context while keeping the database content up-to-date, it is ideal to have a middleware to map RDB datasets to those of RDF (Resource Description Framework) graph and to

<http://d2rq-dev.dbcls.jp/>



ライフサイエンス統合データベースセンター

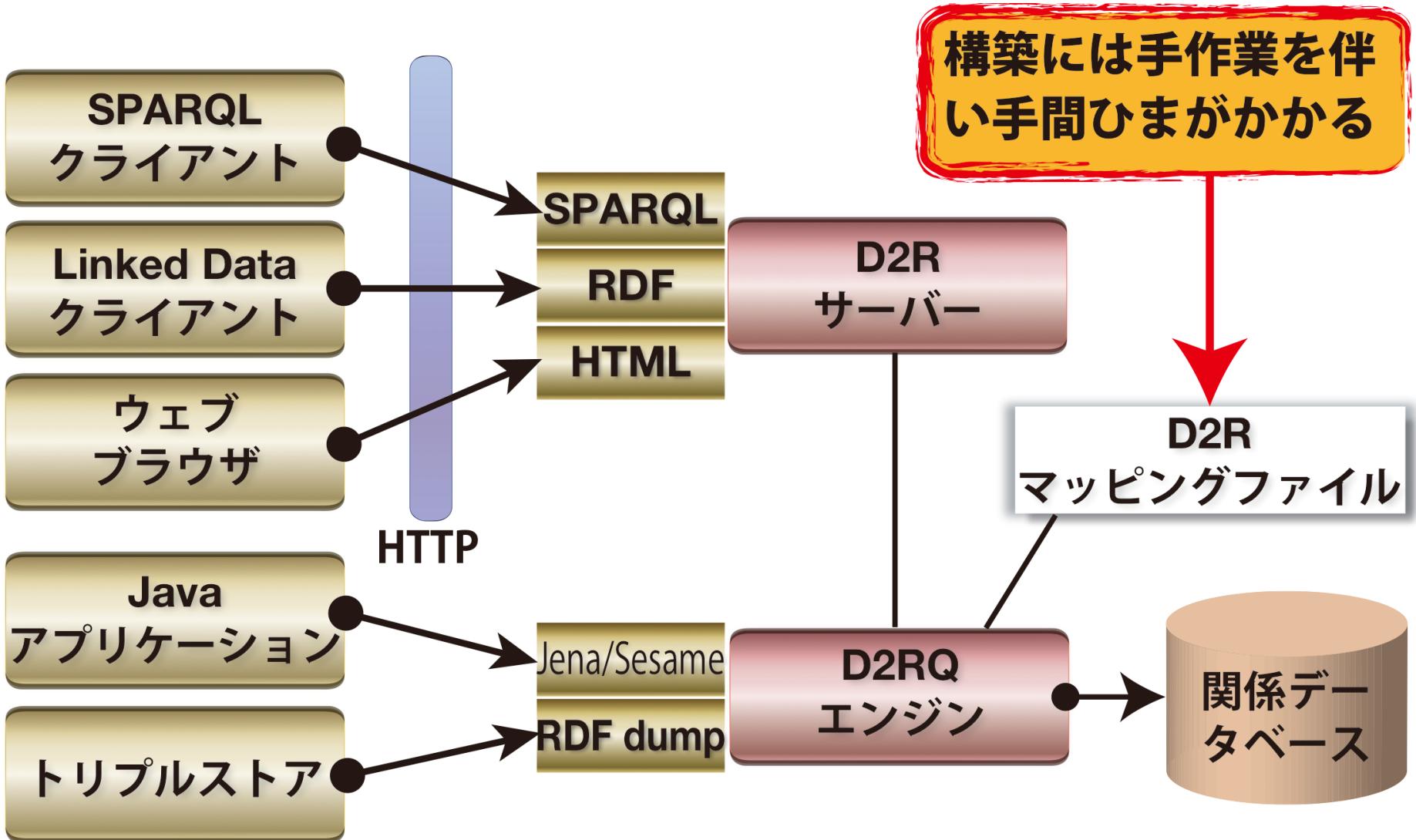
D2RQ: RDB → RDF



The screenshot shows the D2RQ Platform homepage. The header features the D2RQ logo and the tagline "Accessing Relational Databases as Virtual RDF Graphs". The main content area has a dark background with white text. On the left, there's a sidebar with links like "Download", "Getting Started", "Tools", "D2R Server", "dump-rdf", "D2RQ API", "Support and Development", "Issue Tracker", "Git", and "Links and Resources". The main content includes sections for "RDBに対してSPARQLで問い合わせ", "RDBのデータにウェブ経由でLinked Dataとしてアクセス", "利用者の指定したマッピングルールに基づいてRDBのデータをRDFデータベース(トリプルストア)に格納可能なRDFデータとして出力", and "RDBのデータにApache Jena APIとしてアクセス". The right side of the page contains detailed descriptions and bullet points for each section.

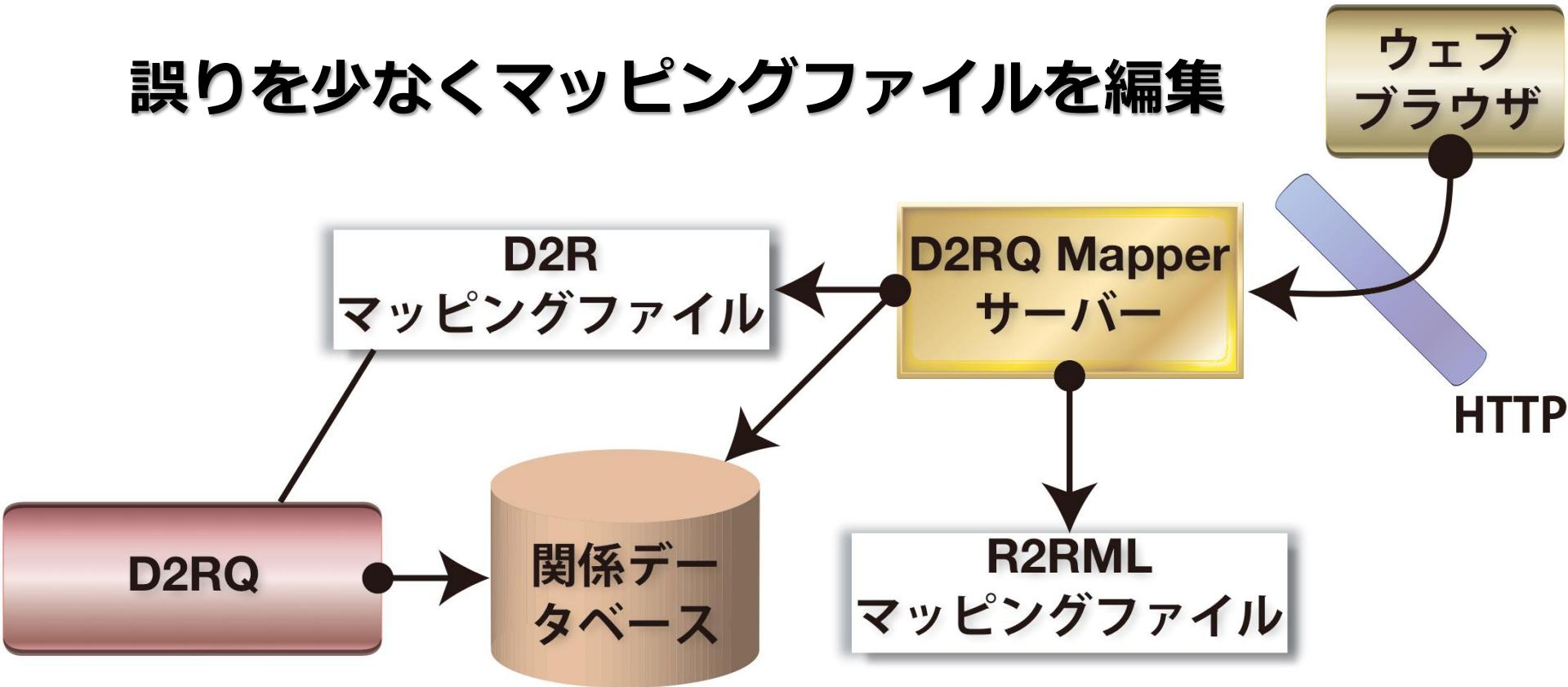
- ミドルウェア Accessing Relational Databases as Virtual RDF Graphs
- RDBに対してSPARQLで問い合わせ
 - query a non-RDF database using [SPARQL](#)
 - access the content of the database as [Linked Data](#) over the Web
 - create custom dumps of the database in RDF formats for loading into an RDF store
 - access information in a non-RDF database using the [Apache Jena API](#)
- RDBのデータにウェブ経由でLinked Dataとしてアクセス
- 利用者の指定したマッピングルールに基づいてRDBのデータをRDFデータベース(トリプルストア)に格納可能なRDFデータとして出力
 - Free webinar on D2RQ. As part of the [LOD2 project](#)'s series of webinars on Linked Open Data topics, Robert Isele will present a session about D2RQ on Tuesday, April 24th. [Sign up here](#), or see [here for more information](#). 2012-04-21
 - Poster on D2RQ/Update at [WWW2012](#). Vadim Eisenberg's [D2RQ/Update extension](#) will be presented next week in the poster session at the [WWW2012 conference](#) in France. Poster presentation date: 2012-04-21
- RDBのデータにApache Jena APIとしてアクセス
 - Version 0.8 released. New features include preliminary SPARQL 1.1 support, Firebird support, generation of RDFS/OWL schemas for databases, and download maps for making the content of CLOB/BLOB columns accessible via HTTP. Datatype compatibility with Oracle, MySQL, SQL Server, MySQL BLOB, PostgreSQL, and Oracle BLOB is also supported. 2012-06-06

D2RQ利用の課題



D2RQ Mapper

誤りを少なくマッピングファイルを編集

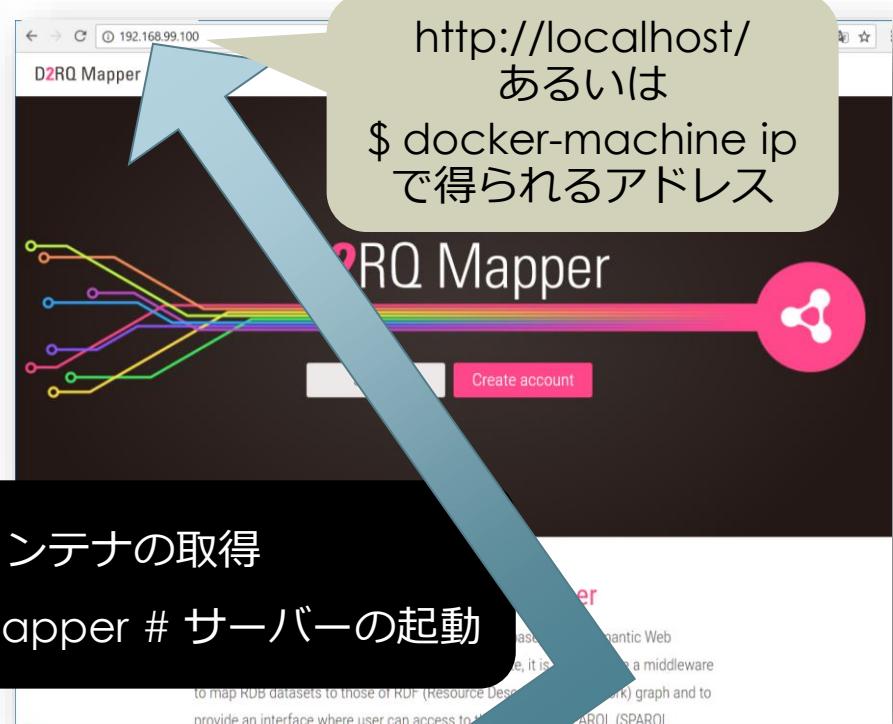


<http://d2rq-dev.dbcls.jp/>

Dockerイメージ配布



オンプレミスで利用可能
(イントラネット内など)



```
$ docker pull d2rqmapper/d2rq-mapper # コンテナの取得  
$ docker run -d -p 80:80 d2rqmapper/d2rq-mapper # サーバーの起動
```

サーバー起動後、サーバーのアドレスをブ
ラウザに入力することで利用可能

文献情報関連サービスの紹介

PubMed最新情報

The screenshot shows a web browser window for the NLM Technical Bulletin. The page header includes the NLM logo and the text "YOUR SOURCE FOR THE LATEST SEARCHING INFORMATION". A search bar at the top right contains the placeholder "Search here for NLM Technical Bulletin articles". Below the header, a navigation menu offers links to "Current Issue", "Previous Issues", "About", "Stay Current" (with a feed icon), and a "Table of Contents: 2016 MAY-JUNE No. 410". The main content area features a bold heading "PubMed Celebrates its 20th Anniversary!" followed by a brief summary and the date "2016 June 21 [posted]". The text discusses the history of PubMed, mentioning its release in 1996, the removal of the word "experimental" from the site in 1997, and the official announcement of free MEDLINE access via PubMed at a Capitol Hill Press conference in 1997. It also highlights the evolution of the database over the years, including the introduction of various search features and mobile access.

on June 26, 1997, a Capitol Hill Press conference officially announced free MEDLINE access via PubMed.

Cheers to PubMed - here's to another 20 years of excellence, evolution, and discovery.

By Kathi Canese
National Center for Biotechnology Information

ISSN 2161-2986 (Online) Content not copyrighted; freely reproducible.
Trademarks Copyright Privacy Accessibility Contact NLM Viewers and Players
U.S. National Library of Medicine 8600 Rockville Pike, Bethesda, MD 20894
National Institutes of Health NIH...Turning Discovery into Health®
U.S. Department of Health and Human Services Freedom of Information Act

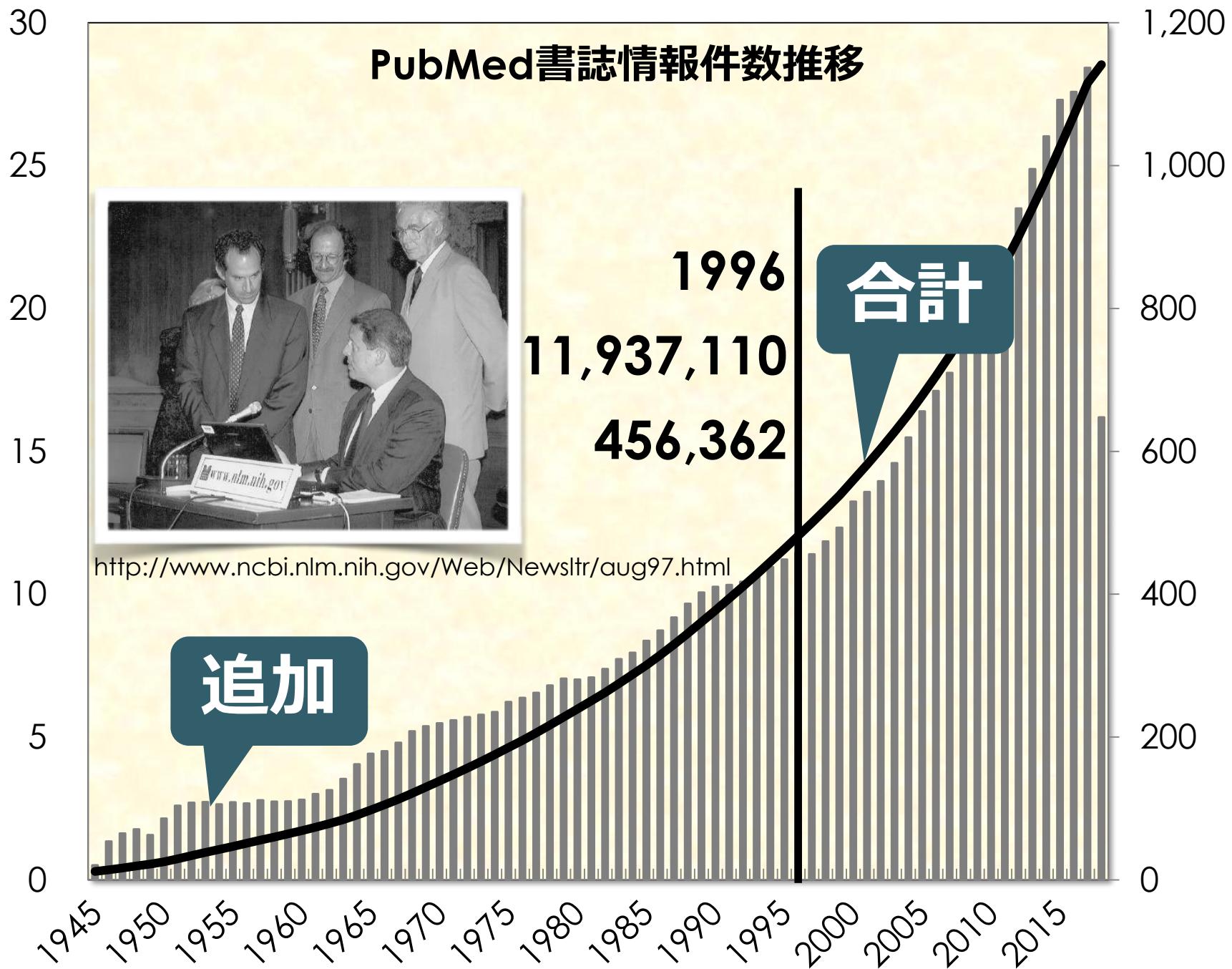
Last updated: 21 June 2016
Permanence level:
Permanent: Stable Content

PubMed書誌情報件数推移

百万

1,200

千



現状

- 2900万件を超える文献情報（1/25時点で29,304,852）
- 2015年だけで1,136,851件追加（3115件/日）
- 5200件を超える学術誌
- 一日当たり、
 - 250万件の検索、160万人の利用者、830万件の書誌情報閲覧
 - モバイル端末からは、12万件超の検索、32000人の利用者、35万件閲覧
 - 近年はプログラム経由でのアクセスが増えている

https://www.nlm.nih.gov/bsd/num_titles.html
https://www.nlm.nih.gov/bsd/bsd_key.html



ライフサイエンス統合データベースセンター



Search term



Welcome to PubMed Mobile

PubMed comprises more than 29 million citations for biomedical literature from MEDLINE, life science journals, and online books. Citations may include links to full-text content from PubMed Central and publisher websites.

Trending articles

[Tumor mutational load predicts survival after immunotherapy across multiple cancer types.](#)
Samstein RM, et al. Nat Genet. 2019.

[Circulating Tumor Cell Clustering Shapes DNA Methylation to Enable Metastasis Seeding.](#)
Gkountela S, et al. Cell. 2019.

Trending articles

[Tumor mutational load predicts survival after immunotherapy across multiple cancer types.](#)
Samstein RM, et al. Nat Genet. 2019.

[Circulating Tumor Cell Clustering Shapes DNA Methylation to Enable Metastasis Seeding.](#)
Gkountela S, et al. Cell. 2019.

[Human blood vessel organoids as a model of diabetic vasculopathy.](#)

Wimmer RA, et al. Nature. 2019.

[Intravenous Iron in Patients Undergoing Maintenance Hemodialysis.](#)

N Engl J Med. 2019.

[Increasing Smoking Cessation in the United States: Expanding the Availability of Over-the-Counter Medications.](#)

Leischow SJ, et al. JAMA. 2019.

[See all](#)

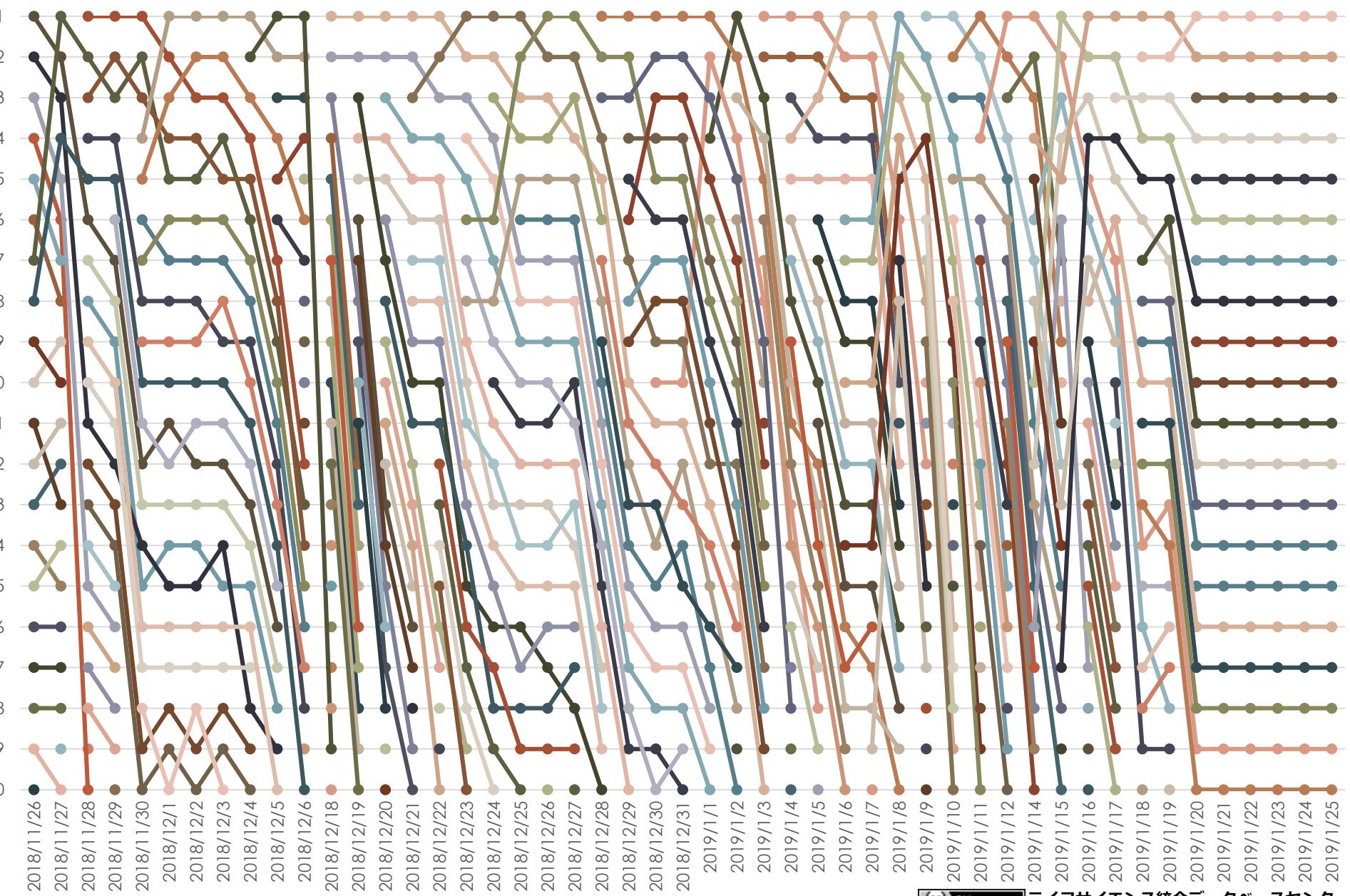
[Full website](#)

NIH NLM NCBI Help



ライフサイエンス統合データベースセンター

PubMed Trending Articlesの経時変化





文献で使われる略語
を検索



文献で使われる英語
表現を検索

随時更新
利用料なし



引用情報の検索

Allie (アリー)

文献で使われる略語とその展開形を検索



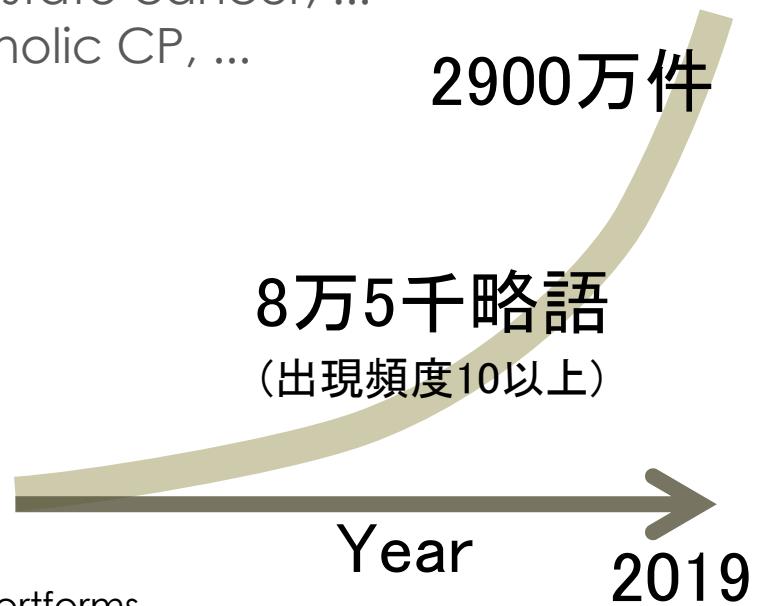
<http://allie.dbcls.jp/>

A dense word cloud centered around medical and scientific terms, set against a background of blurred book titles. The most prominent words include:

- CT
- HIV
- LPS
- PCR
- ELISA
- ER
- HR
- NMDA
- PD
- OR
- MS
- RA
- RO
- TNF
- MR
- RT-PCR
- VEGF
- IFN-gamma
- LC
- GFP
- IL-2
- IR
- ICU
- OA
- PE
- PG
- PCA
- RF
- ROC
- TG
- SP
- SNP
- SR
- SOD
- SNPs
- TPA
- Ig
- MHC
- MD
- HBV
- EMG
- EEG
- COPD
- IFN
- MD
- HBV
- PKC
- SEM
- WT
- SLE
- SD
- SC
- RT
- PSA
- PR
- PTH
- HD
- GH
- LH
- iNOS
- FA
- HF
- LDH
- GC
- CEA
- EGFR
- EBV
- DM
- ED
- ECM
- ET
- CL
- CA
- CP
- CF
- CHD
- ATP
- ALL
- AML
- AF
- cAMP
- CAD
- CF
- CHD
- ATP
- ALL
- AML
- AF
- cAMP
- CAD
- AA
- AIDS
- AP
- ACh
- ACE
- BP
- AR
- CAT
- BM
- BMD
- CD
- CNS
- CVD
- CMV
- DC
- CS
- FISH
- EC
- HIV-1
- IL-6
- MAPK
- HA
- NSCLC
- PBMC
- MAPL
- VRR
- SOD
- SNPs
- TPA
- LC
- GFP
- IL-2
- IR
- ICU
- OA
- PE
- PG
- PCA
- RF
- ROC
- TG
- SP
- SNP
- SR
- SOD
- SNPs
- TPA

生命科学分野の文献中には略語が多い

- 研究者により自由に略語が生み出されている
発表文献数は増加の一途 (PubMedには2000報以上追加/日)
- 多くの多義語・類義語が存在
- 読み手に誤解と混乱を生じさせる
PC: personal computer, primary care, prostate cancer, ...
Alcoholic chronic pancreatitis: ACP, alcoholic CP, ...



<http://tinyurl.com/allie-shortforms>

生命科学系の略語を簡単に調べる方法はないか?



新たに作られた略語を含めて

Toxicol Sci. 2010 Feb;113(2):293-304. Epub 2009 Oct 25.

Effects of cytochrome P450 inhibitors on the biotransformation of fluorogenic substrates by adult male rat liver microsomes and cDNA-expressed rat cytochrome P450 isoforms.

Makaji E, Trambitas CS, Shen P, Holloway AC, Crankshaw DJ.

Department of Obstetrics & Gynecology, McMaster University, Ontario, Canada.

Abstract

We have evaluated the use of a panel of six fluorogenic cytochrome P450 (CYP) substrates as

計算機を用いて自動的に抽出

7-methoxy-4-methylcoumarin (AMMC), 7-benzyloxy-4-(trifluoromethyl)-coumarin, 7-benzyloxyquinoline, 3-cyano-7-ethoxycoumarin, 7-methoxy-4-(trifluoromethyl)-coumarin, and 7-ethoxy-4-trifluoromethyl-coumarin by microsomes from adult male rat liver were characterized, their sensitivities to 15 putative inhibitors were determined and compared to similar experiments using nine different complementary DNA (cDNA) expressed rat CYPs. Inhibitory profiles of the substrates in microsomes were different from each other, with some overlap, suggesting that each substrate is to some extent specific for one or more CYPs. For example, ketoconazole and clotrimazole were nonselective inhibitors of all of the substrates, whereas amiodarone had no inhibition of AMMC. CYP2A1 did not biotransform any of the substrates, and CYP2E1 was insensitive to

complementary DNA – cDNA

約2900万件

reactive oxygen species
ROS

high-performance liquid chromatography
FTIR

superoxide dismutase
SOD



MEDLINEに含まれる全文献情報を対象に抽出

約2153万ペア (unique: 371万)

<http://tinyurl.com/allie-paircount>

<http://tinyurl.com/allie-paircount-unique>



ライフサイエンス統合データベースセンター

- 日本語訳があれば提示
reactive oxygen species / 活性酸素種, 反応性酸素生成物
- よく使われる分野を提示、絞り込みも可能
[Biochemistry](#) / 生化学, 生物化学
- 出現文献情報を提示
ROS - (1980) Evidence for both oxygen and non-oxygen dependent mechanisms of antibody sensitized target cell lysis by human monocytes.
- 同じ文献で使われている他の略語 (共起略語) も提示
ROS -SOD, NO, NAC, ...

ペア出現頻度の経年変化

DBCLS Research Services Contact About

Allie A Search Service for Abbreviation / Long Form

■ 略語／展開語 : iPS／induced pluripotent stem

[関連PubMed/MEDLINE情報]
合計出現文献数: 1624



略語: iPS ([> 共起略語](#))
展開形: induced pluripotent stem
[DBpediaへのリンク](#)

■ 略語バリエーション
■ 展開形バリエーション
■ ペア(略語／展開形)バリエーション

No.	発表年	題目	共起略語
1	2019	Culture System of Bile Duct-Like Cystic Structures Derived from Human-Inducible Pluripotent Stem Cells.	---
2	2019	Organ Generation from Knockedout Rat Blastocysts Complemented with Pluripotent Stem Cells.	ES, KO
3	2018	A new genetic tool to improve immune-compromised mouse models: Derivation and CRISPR/Cas9-mediated targeting of NRG embryonic stem cell lines.	ES, ESC, NOD
4	2018	Allele-Specific Biased Expression of the CNTN6 Gene in iPS Cell-Derived Neurons from a Patient with Intellectual Disability and 3p26.3 Microduplication Involving the CNTN6 Gene.	CNVs
5	2018	Amenable epigenetic traits of dental pulp stem cells underlie high capability of xeno-free episomal reprogramming.	DPSCs, ES
6	2018	An in vitro model of polycystic liver disease using genome-edited human inducible pluripotent stem cells.	HPC
7	2018	Analysis of mitochondrial function in human induced pluripotent stem cells from patients with mitochondrial diabetes due to the A3243G mutation.	---
8	2018	Application of pluripotent stem cells for treatment of human neuroendocrine disorders.	ES
9	2018	Approach for the Derivation of Melanocytes from Induced Pluripotent StemCells.	---
10	2018	Artificial Pigmented Human Skin Created by Muse Cells.	ES, Muse
11	2018	Assessment of Mitophagy in iPS Cell-Derived Neurons.	---
12	2018	Billion-scale production of hepatocyte-like cells from human induced pluripotent stem cells.	RCCS

発展的な利用

- ftpでデータベースのダウンロードが無料で可能
 - 毎週更新
 - <ftp://ftp.dbcls.jp/allie>
- APIにより利用者の開発したプログラムから検索可能
 - SOAP / REST / SPARQL
 - <http://data.allie.dbcls.jp/>
- Google Assistantからも呼び出せます

http://allie.dbcls.jp/

■ 略語／展開形の検索

[検索語] (略語、展開形、もしくはそれらの一部)

検索 リセット

Allie Data Portal | SOAP/REST APIについて | English

[ヘルプ] [略語一覧]

"SPF"で試す | 検索オプション

Allieとは？

Allie(アリー)は生命科学分野において利用されている略語とその展開形を検索するサービスです。文献中に多く出現する略語は多義語であることが多く、特に専門外の読者には理解するのに困難を作ることがあります。Allieはこの問題に対する一つの解となるよう開発されています。Allieは米国国立保健図書館(National Library of Medicine, NLM)の生物学分野における書誌情報データベースであるPubMedに含まれる全ての項目と要旨を対象として略語とその展開形を検索します。PubMedは2800万件を超す書誌情報を収めており、実際の文献中で出現する種々固有の略語とその展開形を抽出するのに相応しいものとなっています。

Allieで何ができるのか？

- 略語の展開形もしくはある表現
- 検索結果の略語もしくは展開形
- 検索結果の略語もしくは展開形を含む項目あるいは要旨に共起する他の略語が得られます。
- 利用者のプログラムからAllieの機能が容易に使えるよう、SPARQL/REST/SOAPインターフェースを備えています。

動画チュートリアル

Allieの使い方を動画で解説しています。[こちら](#)をご覧ください。

新着情報ブログ

データを更新した際に追加された略語などについての情報を[こちら](#)にアップしています。

関連文献

Allieの詳細については下記の文献を参照してください。:

略語のアリー

検索



動画チュートリアル(統合TV)

2017-10-25 Allieを使って略語の正式名称を検索する 2017



The screenshot shows a video player interface with a play button in the center. To the left is a sidebar with navigation buttons and the text '1 / 5 ページ'. The main area displays a table of search results:

順位	略語	件数	頻度
1	ES	359	14203
2	hES	38	524
3	ESCs	36	2874
4	EBs	30	1076
5	MEFs	30	1972
6	EB	23	5253
7	MSCs	21	12897
8	ESC	20	2359
9	PD	20	54878
10	RPE	20	9038
11	hESCs	19	2105
15	NPCs	13	2018
16	Ad	12	2221

A blue box overlaid on the table contains the text: '全ての共起略語のリストとなっています。頻度が高い順に掲載されています。' (This is a list of all co-occurring abbreviations. They are listed in descending order of frequency.)

■ YouTube版を視聴できない方はオリジナル版ファイル(mov形式)をダウンロードして、ご覧ください。

Allie（「アリー」と発音します）は、ライフサイエンス統合データベースセンター(DBCLS)が提供するサービスのひとつで、PubMed/MEDLINE(医学生物系文献書誌情報データベース)に収載されている文献中に出現する略語とその正式名称の組およびその付随情報を検索するシステムです。

<http://togo.tv.dbcls.jp/20171025.html>



ライフサイエンス統合データベースセンター

AllieデータベースへのSPARQL検索結果例

研究分野が“Virology”である文献中に出現する略語

頻度	略語	展開形	対訳
15571	HIV-1	human immunodeficiency virus type 1	ヒト免疫不全ウイルス1型
7037	RT	reverse transcriptase	逆転写酵素
7037	HSV	herpes simplex virus	単純ヘルペスウイルス, 単純疱疹ウイルス
6514	RSV	respiratory syncytial virus	(呼吸器に感染するニューモウイルス) RSウイルス, 呼吸器合胞体ウイルス, 呼吸器多核体ウイルス
6240	HSV-1	herpes simplex virus type 1	単純ヘルペスウイルス1型
5485	HA	hemagglutinin	ヘマグルチニン, 血球凝集素, 赤血球凝集素
4809	HCMV	human cytomegalovirus	ヒトサイトメガロウイルス
4665	ORFs	open reading frames	(DNA上でタンパク質をコードする範囲) 翻訳領域, オープンリーディングフレーム, 読み取り枠, 読み枠
3857	VZV	varicella-zoster virus	水痘・帯状疱疹ウイルス, 水痘帯状疱疹ウイルス
3029	WNV	West Nile virus	(蚊が媒介して脳炎や感冒様症状を起こす病原ウイルス) ウエストナイルウイルス, West Nileウイルス, 西ナイルウイルス

<http://tinyurl.com/allie-virology>

UniProtとの連合検索例

UniProt

SPARQL Downloads Documentation/Help Contact

Results

[Sparql XML](#) [Sparql JSON](#) [CSV](#) [Share](#)

Show query

englishLabelStr	protein	japaneseLabelStr
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/P08592	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/P05067	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/P53601	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/P79307	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/P12023	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/Q28280	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/Q60495	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/073683	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/O93279	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/P29216	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/P86906	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/Q28053	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/Q28748	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/Q28757	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/Q29149	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/Q5IS80	アミロイド前駆体タンパク質
Amyloid precursor protein	http://purl.uniprot.org/uniprot/Q95241	アミロイド前駆体タンパク質

SPARQL results: <https://tinyurl.com/Allie-APP>

```
englishLabelStr      japaneseLabelStr
"amyloid precursorprotein" "アミロイド前駆体タンパク質"@ja
"amyloid protein precursor" "アミロイド前駆体タンパク質"@ja
"amyloid-precursor protein" "アミロイド前駆体タンパク質"@ja
"amyloid-precursor-protein" "アミロイド前駆体タンパク質"@ja
"amyloid.precursor-protein" "アミロイド前駆体タンパク質"@ja

PREFIX up:<http://purl.uniprot.org/core/>
PREFIX rdfs:<http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>
PREFIX rdf:<http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#>
PREFIX allie:<http://purl.org/allie/ontology/201108#>
SELECT
    ?englishLabelStr ?protein ?japaneseLabelStr
WHERE {
    BIND("アミロイド前駆体タンパク質"@ja AS ?japaneseLabelStr)
    SERVICE<http://data.allie.dbcls.jp/sparql>{
        ?x rdfs:label ?japaneseLabelStr ;
            rdfs:label ?englishLabel .
        FILTER(lang(?englishLabel) = "en")
    }
    BIND (STR(?englishLabel) AS ?englishLabelStr)
    ?protein a up:Protein .
    {
        ?protein (up:recommendedName|up:alternativeName) ?structuredName .
    }
    UNION
    {
        VALUES(?partType){(up:domain) (up:component)}
        | ?protein ?partType ?part .
        ?part (up:recommendedName|up:alternativeName) ?structuredName .
    }
    ?structuredName ?anyKindOfName ?englishLabelStr .
    ?anyKindOfName rdfs:subPropertyOf up:structuredNameType .
}
```

<https://tinyurl.com/UniProt-Allie-APP>

SPARQL Query created by @jervenbolleman



ライフサイエンス統合データベースセンター

inMeXes (インメクセズ) 文献中に書かれている英語表現を検索



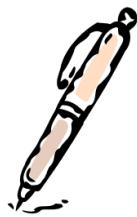
<https://docman.dbcls.jp/im/>

英作文をしていると出くわす悩み



- is associated に続く前置詞は何だったっけ？
- リン酸化に対応する英単語、phosの続きはどう綴ったかな？
- associated with を修飾する副詞、文献でよく使われているものは何だろう？
- thermodynamic parameters には the が付くことが多い？付いている場合の実際の文章は？
- unknownと同じような使われ方をするほかの単語は？

is associated ...



inMeXes にお任せください!



inMeXes

- 高速
MEDLINEに含まれる全ての題目、要旨中の表現を高速に検索
- 軽快
3文字以上入力すると、キーを叩く毎に検索結果を表示
- 便利
結果は頻度順、気になる表現をクリックすると関連情報を表示

関連情報を選択できます

associated with を含む 表現を検索。 フィルタを表示

最大結果表示件数: 20 , 検索結果のリンク先: PubMedセンテンス , Permalink(?)

マッチ	関連語	表現
3573632	associated with	LSD共起リスト
478797	was associated with	LSD辞書
470068	is associated with	英辞郎
361484	associated with the	LSDB横断検索
329702	associated with a	ワイキペディア
228596	were associated with	PubMedセンテンス
202286	are associated with	Medicine / Neurology / Neoplasms
186602	be associated with	Medicine / Neoplasms / Neurology
148630	significantly associated with	Neoplasms / Medicine / Psychiatry
125371	associated with an	Medicine / Neoplasms / Cardiology
118134	associated with increased	Medicine / Neoplasms / Cardiology
117458	not associated with	Neoplasms / Medicine / Neurology
100714	was associated with a	Neoplasms / Medicine / Cardiology
95559	factors associated with	Medicine / Public Health / Neoplasms
88458	been associated with	Neoplasms / Medicine / Neurology
85741	to be associated with	Neoplasms / Medicine / Neurology
66984	is associated with a	Medicine / Cardiology / Neoplasms
58764	may be associated with	Medicine / Neoplasms / Neurology
58383	associated with an increased	Neoplasms / Medicine / Cardiology
57434	was significantly associated with	Neoplasms / Medicine / Psychiatry

関連情報例: PubMedアブストラクト中の表現

PMID	Location	Line	Sentence
14862	Abstract	5	The fall in serum calcium ion concentration was highly correlated with the rise in serum pH.
49375	Abstract	4	Body temperature was found to decline with advancing age and was highly correlated with thyroid function.
65917	Abstract	12	For all samples the amount of lipoprotein released was highly correlated with the accumulation of deposited cholesterol, suggesting that immobilization of LDL may be an intermediate step in the irreversible deposition of extracellular cholesterol.
67021	Abstract	10	It was primarily due to changes in the amplitude of late VEP components (240--400 msec after the evoking stimulus) and was highly correlated with the percentage time the infants fixated the various check sizes.
100173	Abstract	3	Secondly, if a visual stimulus sometimes elicited a saccade and sometimes failed to elicit a saccade, the occurrence of the spike pulse was highly correlated with saccade occurrence.
133356	Abstract	7	(2) Direct stimulants of DA receptors should enhance self-stimulation of NA sites by augmenting dopaminergic motivational activity; but in rats with DA electrodes, noncontingent stimulation of DA receptors would also impose similar noncontingent activity on the transsynaptic noradrenergic reinforcement pathways and thus depress self-stimulation; this was confirmed by the finding that apomorphine (0.3-1.0 mg/kg) was strongly stimulant for NA electrodes but strongly depressant for DA electrodes, and that the degree and direction of these effects was highly correlated with the differential effects of d- l-amphetamine (rho = .65, p less than 0.01).
135383	Abstract	3	Stimulation by pools of 20 cells was highly correlated with the general "responsiveness" of responding cells as measured by their mean response to a large panel of stimulating cells.
138358	Abstract	3	The maximum of Vf, the summated vector (Vf), was highly correlated with VS1+R6 ($r=0.84$).
147530	Abstract	2	MLC blocking particularly in the unidirectional culture against donor-stimulating cells, was highly correlated with the presence of complement-dependent cytotoxicity antibodies against donor B lymphocytes.
150082	Abstract	2	Unidirectional MLC blocking was highly correlated with a positive B-cell crossmatch.
169242	Abstract	2	The <i>in vitro</i> nuclear binding of all the analogues tested was highly correlated with their published thyromimetic potencies in the intact animals.
191473	Abstract	10	The rate of rise of plasma 25-OHD level was highly correlated with the dose used.
191551	Abstract	6	In these animals, plasma cholesterol concentration ranged from 100 to over 700 mg/dl and was highly correlated with LDL molecular weight and with the micromolar concentration of the LDL.
203920	Abstract	5	The calcium binding activity of these samples was approximately 0.9% per mg. protein and was highly correlated with CaBP concentration ($r=0.94$).
210440	Abstract	6	Total cholesterol was highly correlated with both beta- and alpha-lipoproteins; triglycerides were correlated with pre-beta-lipoproteins but inversely with alpha-lipoproteins.
218807	Abstract	5	In individual rats, the magnitude of the decrease in nuclear T3 receptor concentration was highly correlated with the decrease in tumor-free body weight.
234690	Abstract	7	However, the medial thickness of the small pulmonary arteries in control animals was highly correlated with the development of pulmonary hypertension and right ventricular hypertrophy in hypoxic animals.
268642	Abstract	3	The relative activity of these anionic dyes was highly correlated with their lipid solubility.
319288	Abstract	6	The frequency of recovery of <i>E. coli</i> was increased in fatal cases, and mortality was highly correlated with the presence of gastrointestinal catastrophe.
365649	Abstract	5	Post LHRH gonadotropins response was in the normal range for all groups and the amplitude of the response was highly correlated with basal levels except for LH in ND.

同様の使われ方をする単語を調べる

- 例: unknownと同じ様に使われているほかの単語を調べる

The screenshot shows a search interface with the word "unknown" entered into a search bar. Below the search bar are various search parameters: "最大結果表示件数" set to 20, "検索結果のリンク先" set to "LSD共起リスト", and "表現を検索" and "フィルタを表示" buttons. A red circle highlights the "関連語" (Related Words) tab in the navigation menu, which is currently selected. The main content area displays a list of words along with their distances from the query and their category "inMeXes".

距離	単語	リンク
0.93	unclear	inMeXes
0.92	undefined	inMeXes
0.91	uncertain	inMeXes
0.87	unexplored	inMeXes
0.85	controversial	inMeXes
0.83	unresolved	inMeXes
0.83	elusive	inMeXes
0.82	debated	inMeXes
0.81	unrecognized	inMeXes
0.81	obscure	inMeXes
0.77	enigmatic	inMeXes
0.77	disputed	inMeXes
0.77	unreported	inMeXes
0.76	debatable	inMeXes
0.76	undescribed	inMeXes
0.76	important	inMeXes
0.75	uncharacterized	inMeXes
0.75	undetected	inMeXes
0.75	understudied	inMeXes
0.74	underappreciated	inMeXes

やや高度な使い方: 正規表現フィルタ

- 例: was _ correlated withの_にはどのような表現があるかを知りたい

correlated with で終わる 表現を検索 フィルタを表示

正規表現フィルタ(?): ^was にマッチする表現のみ に絞る フィルタのクリア 正規表現について

例: was _ correlated withの_にはどのような表現があるかを知りたい場合、最初の検索ボックスにcorrelated withを入力し、「で終わる」表現を検索とします。そして正規表現フィルタで^wasと入力し(wasの次に半角スペース)、「に絞る」を指定します。(結果)

最大結果表示件数: 20 検索結果のリンク先: LSD共起リスト Permalink(?)

マッチ	関連語	表現	関連研究分野
46664		was correlated with Neoplasms / Neurology / Medicine	
21320		was positively correlated with Medicine / Neoplasms / Neurology	
19816		was significantly correlated with Neoplasms / Neurology / Medicine	
12085		was negatively correlated with Medicine / Neurology / Endocrinology	
8702		was not correlated with Neoplasms / Neurology / Medicine	
6898		was inversely correlated with Neoplasms / Medicine / Endocrinology	
4063		was highly correlated with Neurology / Physiology / Neoplasms	
3597		was strongly correlated with Neoplasms / Neurology / Medicine	
1922		was closely correlated with Neoplasms / Biochemistry / Medicine	
1873		was not significantly correlated with Neoplasms / Neurology / Medicine	
1777		was also correlated with Neoplasms / Neurology / Medicine	
1675		was well correlated with Neoplasms / Biochemistry / Pharmacology	
1323		was directly correlated with Neoplasms / Biochemistry / Vascular Diseases	
907		was found to be correlated with Neoplasms / Biochemistry / Neurology	
872	was significantly positively correlated with	Environmental Health / Medicine / Psychiatry	
666	was significantly negatively correlated with	Environmental Health / Medicine / Psychiatry	
572		was linearly correlated with Physiology / Biochemistry / Pharmacology	
555		was moderately correlated with Neurology / Psychiatry / Psychology	
546	was also significantly correlated with	Neoplasms / Neurology / Medicine	
516	was also positively correlated with	Medicine / Neoplasms / Neurology	

発展的な利用

- API (JSONP) による検索が可能
 - ご自身のブログやホームページに検索サービスを埋め込みます
 - API Keyなどの認証は不要
 - 詳細は <https://docman.dbcls.jp/im/api.html>

逐次PubMed表現検索 inMeXes

3文字以上入力すると検索が始まります。

(大文字小文字は区別されます。ハイフンとスラッシュは結果に空白として表示されます。入力された情報は暗号化されて送信されます。)

▶ inMeXesとは?

こちらでinMeXesの使い方を動画で紹介しています。

The screenshot shows the inMeXes search interface. At the top, there is a search bar containing "is associated" with a dropdown menu set to "を含む" (contains) and a button "表現を検索" (Search expression). Below the search bar is a purple header bar with the text "最大結果表示件数: 20" (Maximum results displayed: 20), a dropdown for "検索結果のリンク先" (Link destination of search results) set to "LSD共起リスト" (LSD Co-occurrence list), and a link "Permalink(?)". Below the header is a navigation bar with tabs: "マッチ" (Match) which is highlighted in green, "関連語" (Related words), "頻度" (Frequency), "表現" (Expression), and "関連研究分野" (Related research fields).

<https://docman.dbcls.jp/im/>

The screenshot shows the search results for the query "is associated". The results are listed in a table with two columns. The left column contains IDs and terms, and the right column contains their corresponding medical categories. A large white arrow points from the search input field to the "検索" (Search) button.

8321	is associated with an increased risk of Medicine / Cardiology / Neoplasms
8065	it is associated Medicine / General Surgery / Neoplasms
7748	is associated with poor Neoplasms / Medicine / Cardiology
7657	it is associated with Medicine / General Surgery / Cardiology
7367	is associated with high Medicine / General Surgery / Cardiology
7300	is associated with reduced Medicine / Cardiology / Vascular Diseases

inMeXes は DBCLS により提供されています。ご利用に際してサイトポリシーをご覧下さい。

『英辞郎 on the WEB』とは、EDP制作の英和・和英データベース（英辞郎）をウェブブラウザ経由で利用できるサービスです。

※「英辞郎」は道端早知子氏の登録商標です。

ご意見等ございましたらこちらまでお寄せください。support AT dbcls.rois.ac.jp



動画チュートリアル(統合TV)

2018-01-26 inMeXesを使って文献に頻出する英語表現や関連語を高速に検索する 2018



The screenshot shows a search result page from the inMeXes service. The title bar says "inMeXesを使って文献に頻出する英語表現や関連語を高..." and the main content area displays a list of numbered text snippets from scientific papers. A yellow box highlights the text "結果が表示されました。 LSD共起リストでは、選択したフレーズの前後に続く 頻出表現の候補が表示されます。" (The results are displayed. In the co-occurrence list, candidates for frequently occurring expressions preceding and following the selected phrase are displayed.)

1 and the array of autoantibodies with which it is associated.
2 e rapid disease progression in the dKO model is associated, at least in part, with MPC depletion.
3 was identified a set of genes that were significantly associated with type I MS induced by respon-
4 sses (gamma-TCRs) at the cell cortex that are associated primarily with existing microtubules and
5 photic-zone and nonphotot.
6 s of serum and CSF GABA receptor antibodies are associated with a severe form of encephalitis with a
7 Three chromosomal regions are associated with a significant difference in PFS betw
8 These patients were associated with a variety of genetic and environmental factors.
9 Acute and chronic human CNS infections are associated with an accumulation of heterogeneous brain s
10 Our results show that rare GCH1 variants are associated with an increased risk for Parkinson's di
11 dia complications are common after SAH, and are associated with an increased risk of mortality.
12 at polyglutamine tracts of immunogenic proteins associated with an increased tendency to form amyloid
13 % Reduced bile acid levels in the mouse models associated with cerebral hemorrhage and inflammatory
14 cytostatic, including the brain, heart, liver, and kidney, and high mortality rates.
15 at wall, and the inflammatory response in the brain, heart, and liver in these models, includ
16 loci with 20 mutations associated with the development of neurodegenerative diseases in humans.
17 Many of these mutations are associated with the development of neurodegenerative diseases in humans.
18 the amino acid residues of rat lysyl tRNA synthetase are associated with decreased mRNA processing activity.
19 RTI, lead to male-to-female sex reversal and are associated with development of gonadoblastoma,
20 potentially explaining why mutations in ARX are associated with diverse, and often subtle, defects.
21 fibroadenomas revealed that MED12 mutations are associated with dysregulated estrogen signaling and
22 Some LTR-derived transcripts are associated with enhancer regions and are also co-
23 and polymorphisms in the gene encoding synb are associated with familial forms of PD and muscle pain.
24 described for infected mouse muscle and that are associated with fatal hind limb paralysis.
25 both cag PAI-positive and -negative strains are associated with gastric carcinogenesis, but the risk
26

▶ YouTube版を視聴できない方はオリジナル版ファイル(mov形式)をダウンロードして、ご覧ください。

inMeXes(インメクセズと読みます)は、DBCLSが提供するサービスの一つで、生命科学系の文献(PubMedに含まれるタイトルとアブストラクト)に頻出する英語表現を、1文字の入力ごとに高速に再検索することができます。また、検索結果から用例や関連情報を容易に取得することができます。3文字以上の入力で、生命科学系の文献で実際に用いられている表現をPubMedデータベースにおける頻度順に表示します。1文字の入力を追加するごとに逐次的に文字列にマッチする表現を検索し直すので、目的とする表現をみつけやすくなっています。用例は、「ライフサイエンス辞書プロジェクト(京都大学)」が提供している共起表現リストや、「生命科学データベース横断検索(NRDC)」の文献・データベースリストなどで確

<http://togotv.dbcls.jp/20180126.html>



ライフサイエンス統合データベースセンター

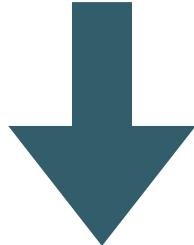
Colil (コリル) 文献の引用情報を検索



<http://colil.dbcls.jp/>

ある文献に関する第三者からの視点

- ・ある文献について、当該文献の著者ではない研究者による評価はどうだろう？
- ・ある文献について、共によく引用されている文献はあるだろうか？
- ・引用したい文献について、特に英語での適切な記述例はないだろうか？



Coliiがお答えします



Colil (Comments on literature in literature)

- 特定の論文について、その引用記述を検索します
- 特定の論文について、他の論文から共に引用されている論文を表示します
- 引用記述抽出対象はPMIDを持つPMC OA (Open Access) サブセットです
(約291万件、PubMed全体の1割程度)
- 約1110万件のPMID付き文献がPMC OAサブセットから引用されています
(PubMed全体の2/5弱=38%)
- 現バージョンは2019年1月時点取得時のものです

引用される論文A

Colilは論文AのPubMed IDを入力として関連論文や引用文を出力する

論文Aの関連論文

論文Aを引用する論文から引用される論文群



具体的な引用文

引用する論文群

PubMed ID or PubMed検索語を入力

DBCLS Research Services Contact About
Colil by DBCLS (最終更新日: 2018年7月10日) ヘルプ Colil Data Portal

被引用論文を指定
PubMed IDを直接入力するか、PubMed検索の結果を利用すことで指定できます。
PubMed IDを入力
23193287
Search
「23193287」で試す

OR
キーワードを入力 (PubMed検索)
PubMedの検索オプションを利用することができます。 "apoptosis"
1995:2000[dp] "Biol Chem"[jour]
Keywords here
Search
「iPS 2006:2008[dp] "Cell"[jour]」で試す
入力後、エンターキーまたは"Search"ボタンを押してください。

① PubMed ID
Authors' Comment What do other papers say about a paper?
1 PubMed ID
Benson DA, Cavanaugh M, Clark K, Karsch-Mizrachi I, Lipman DJ, Ostell J, Sayers EW Nucleic Acids Res. 2013 Jan;41(Database
もしくは
is cited by the following papers.

② PubMed検索語
28727933 Genotype-specific acquisition, evolution and adaptation of characteristic mutations in hepatitis E virus.
Ikram A, Hakim MS, Zhou JH, Wang W, Peppelenbosch MP, Pan Q Virulence. 20180101;9(1):121-132.
material and methods We retrieved 57 ORF1, 51 ORF2 (genotype 1), 131 ORF1, 131 ORF2 (genotype 3) and 99 ORF1, 96 ORF2 (genotype 4) of HEV protein sequences from the GenBank²⁵ (accessed on January 2017). The selected protein sequences represent all major genotypes (1, 3 and 4).
29156057 PRGdb 3.0: a comprehensive platform for prediction and analysis of plant disease resistance genes.
Osuna-Cruz CM, Paytubi-Gallart A, Di Donato A, Sundesha V, Andolfo G, Aiese Cigliano R, Sanseverino W, Ercolano MR Nucleic Acids Res. 2018 Jan 04;46(D1):D1197-D1201.
materials and methods In addition, public databases such as Phytozome (12), Ensembl Plants (13) and NCBI genome db (14) were explored to upload the most recently released Viridiplantae and algae proteomes, retrieving a total of 76 proteome sequences (see the list of these proteomes in Supplementary Table S1).
29201381 Culture-independent genome sequencing of *Coxiella burnetii* from a native heart valve of a Tunisian patient with severe infective endocarditis.
Delaloye J, Pillonel T, Smaoui M, Znazen A, Abid L, Greub G New Microbes New Infect. 2018 Jan;21:31-35.
introduction *burnetii* in 2003, 11 whole genomes and 27 draft genomes have been released in public databases, including the Dutch veterinary strain NL3262 and its epidemiologically linked human isolate [1], [14], [17], [18], [19], [20]. Nevertheless, the biology of *C. burnetii* is still not fully understood, and comparative genomic analyses might

SPARQLクエリを表示
並べ替え year
SPARQLクエリを表示

関連論文 SPARQLクエリを表示
68 Basic local alignment search tool. PubMed
38 Gapped BLAST and PSI-BLAST:

被引用論文を指定

PubMed IDを直接入力するか、PubMed検索の結果を利用することで指定できます。

PubMed IDを入力

OR

キーワードを入力 (PubMed検索)

PubMedの検索オプションを利用することができます。例: *apoptosis* OR *2000[dp]* "J Biol Chem" [jour]

この論文を引用する論文での記述はこうです。

Authors' Comment What do other papers say about a paper?**Induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by defined factors.**

Takahashi K, Yamanaka S Cell. 2006 Aug 25;126(4):663-76. PMID:16904174

is cited by the following papers.

◀ 前へ 合計: 5089, 20 (1ページの件数), 1 / 255ページ 次へ →

並べ替え citedBy

2358232

1020

PubMed

PMC

Master transcription factors and mediator establish super-enhancers at key cell identity genes.

Whyte WA, Orlando DA, Hnisz D, Abraham BJ, Lin CY, Kagey MH, Rahl PB, Lee TI, Young RA Cell. 2013 Apr 11;153(2):307-19.

discussion

roles in the ESC gene expression program and in reprogramming of somatic cells to iPS cells (Feng et al., 2009; Festuccia et al., 2012; Jiang et al., 2008; Martello et al., 2012; Perchede et al., 2012; Takahashi and Yamanaka, 2006). Furthermore, super-enhancer-associated genes are highly sensitive to reduced levels of enhancer-bound factors and cofactors.

2358232

1020

PubMed

PMC

Master transcription factors and mediator establish super-enhancers at key cell identity genes.

Whyte WA, Orlando DA, Hnisz D, Abraham BJ, Lin CY, Kagey MH, Rahl PB, Lee TI, Young RA Cell. 2013 Apr 11;153(2):307-19.

results

expression program and in reprogramming of somatic cells to induced pluripotent stem (iPS) cells (Feng et al., 2009; Festuccia et al., 2012; Jiang et al., 2008; Martello et al., 2012; Perchede et al., 2012; Takahashi and Yamanaka, 2006).

2358232

1020

PubMed

PMC

Master transcription factors and mediator establish super-enhancers at key cell identity genes.

Whyte WA, Orlando DA, Hnisz D, Abraham BJ, Lin CY, Kagey MH, Rahl PB, Lee TI, Young RA Cell. 2013 Apr 11;153(2):307-19.

results

For example, Klf4 and Esrrb play important roles in ESC biology and can facilitate reprogramming (Feng et al., 2009; Festuccia et al., 2012; Jiang et al., 2008; Martello et al., 2012; Perchede et al., 2012; Takahashi and Yamanaka, 2006). The products of the Tet genes are associated with most active promoters and are responsible for global 5-hydroxymethylation of DNA in ESCs (Wu et al., 2011; Yu et al., 2012a).

2358232

1020

PubMed

PMC

Master transcription factors and mediator establish super-enhancers at key cell identity genes.

Whyte WA, Orlando DA, Hnisz D, Abraham BJ, Lin CY, Kagey MH, Rahl PB, Lee TI, Young RA Cell. 2013 Apr 11;153(2):307-19.

results

discovery of Klf4 and Esrrb at super-enhancers, and evidence that Klf4 and Esrrb play important roles in the ESC gene expression program and in reprogramming of somatic cells to iPS cells (Feng et al., 2009; Takahashi and Yamanaka, 2006) suggest that this autoregulatory loop should be expanded to include Klf4 and Esrrb (Figure 2F).

20691899

770

PubMed

PMC

Direct reprogramming of fibroblasts into functional cardiomyocytes by defined factors.

Ieda M, Fu JD, Delgado-Olguin P, Vedantham V, Hayashi Y, Bruneau BG, Srivastava D Cell. 2010 Aug 06;142(3):375-86.

experimental procedures

(Kitamura et al., 2003; Takahashi and Yamanaka, 2006). The pMXs-DsRed Express retrovirus infection in cardiac fibroblasts resulted in >95% transduction efficiency (Hong et al., 2009).

20691899

770

PubMed

PMC

Direct reprogramming of fibroblasts into functional cardiomyocytes by defined factors.

Ieda M, Fu JD, Delgado-Olguin P, Vedantham V, Hayashi Y, Bruneau BG, Srivastava D Cell. 2010 Aug 06;142(3):375-86.

introduction

The ability to reprogram fibroblasts into induced pluripotent stem (iPS) cells with four defined factors might address some of these issues by providing an alternative source of embryonic-like stem cells (Takahashi and Yamanaka, 2006; Zhang et al., 2009). However, generating sufficient iPS-derived cardiomyocytes that are pure and mature and that can be delivered safely remains challenging.

20691899

770

PubMed

PMC

Direct reprogramming of fibroblasts into functional cardiomyocytes by defined factors.

Ieda M, Fu JD, Delgado-Olguin P, Vedantham V, Hayashi Y, Bruneau BG, Srivastava D Cell. 2010 Aug 06;142(3):375-86.

被引用論文を指定

PubMed IDを直接入力するか、PubMed検索の結果を利用することで指定できます。

PubMed IDを入力

16904174

Search

「23193287」で試す

OR

キーワードを入力 (PubMed検索)

PubMedの検索オプションを利用することができます。例: *apoptosis 1995:2000[dp] "J Biol Chem"[jour]*

Keywords here

Search

「IPS 2006:2008[dp] "Cell"[jour]」で試す

入力後、エンターキーまたは"Search"ボタンを押してください。

関連論文

SPARQLクエリを表示

1305 [Induction of pluripotent stem cells from adult human fibroblasts by defined factors.](#) PubMed

939 [Induced pluripotent stem cell lines derived from human somatic cells.](#) PubMed

564 [Embryonic stem cell lines derived from human blastocysts.](#) PubMed

511 [Generation of germline-competent induced pluripotent stem cells.](#) PubMed

378 [In vitro reprogramming of fibroblasts into a pluripotent ES-cell-like state.](#) PubMed

339 [Establishment in culture of pluripotential cells from mouse embryos.](#) PubMed

308 [Reprogramming of human somatic cells to pluripotency with defined factors.](#) PubMed

281 [Direct conversion of fibroblasts to functional neurons by defined factors.](#) PubMed

272 [Core transcriptional regulatory circuitry in human embryonic stem cells.](#) PubMed

Authors' Comment What do other papers say about a paper?**Induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by defined factors.**

Takahashi K, Yamanaka S Cell. 2006 Aug 25;126(4):663-76. PMID:16904174

is cited by the following papers.

← 前へ 合計: 5089, 20

ページの件数: 1 / 255ページ 次へ →

並べ替え citedBy

SPARQLクエリを表示

23582322

1020

PubMed

PMC

Master transcription factors and mediator establish super-enhancers at key cell identity genes.

Whyte WA, Cimmino A, Raya A, Hnisz D, Abraham BJ, Lin CY, Kagey MH, Rahl PB, Lee TI, Young RA Cell. 2013 Apr 11;153(2):307-19.

discussion results show that super-enhancers are also present in the ESC gene expression program and in reprogramming of somatic cells to iPS cells (Feng et al., 2009; Festuccia et al., 2009; Jiang et al., 2008; Martello et al., 2012; Perchard et al., 2012; Takahashi and Yamanaka, 2006). Furthermore, super-enhancers are also found in differentiated cells and are relatively insensitive to reduced levels of enhancer-bound factors and cofactors.

23582322

1020

PubMed

PMC

Master transcription factors and mediator establish super-enhancers at key cell identity genes.

Whyte WA, Cimmino A, Raya A, Hnisz D, Abraham BJ, Lin CY, Kagey MH, Rahl PB, Lee TI, Young RA Cell. 2013 Apr 11;153(2):307-19.

results show that super-enhancers are also present in the ESC gene expression program and in reprogramming of somatic cells to iPS cells (Feng et al., 2009; Festuccia et al., 2009; Jiang et al., 2008; Martello et al., 2012; Perchard et al., 2012; Takahashi and Yamanaka, 2006).

23582322

1020

PubMed

PMC

Master transcription factors and mediator establish super-enhancers at key cell identity genes.

Whyte WA, Cimmino A, Raya A, Hnisz D, Abraham BJ, Lin CY, Kagey MH, Rahl PB, Lee TI, Young RA Cell. 2013 Apr 11;153(2):307-19.

results show that super-enhancers are also present in the ESC gene expression program and in reprogramming of somatic cells to iPS cells (Feng et al., 2009; Festuccia et al., 2009; Jiang et al., 2008; Martello et al., 2012; Perchard et al., 2012; Takahashi and Yamanaka, 2006). The products of the super-enhancers are global 5'-cytosine methylation of DNA's, ESC, Wnt and Notch signaling pathways, and super-enhancers are also found in differentiated cells and are relatively insensitive to reduced levels of enhancer-bound factors and cofactors.

23582322

1020

PubMed

PMC

Master transcription factors and mediator establish super-enhancers at key cell identity genes.

Whyte WA, Cimmino A, Raya A, Hnisz D, Abraham BJ, Lin CY, Kagey MH, Rahl PB, Lee TI, Young RA Cell. 2013 Apr 11;153(2):307-19.

results show that super-enhancers are also present in the ESC gene expression program and in reprogramming of somatic cells to iPS cells (Feng et al., 2009; Festuccia et al., 2009; Jiang et al., 2008; Martello et al., 2012; Perchard et al., 2012; Takahashi and Yamanaka, 2006). The products of the super-enhancers are global 5'-cytosine methylation of DNA's, ESC, Wnt and Notch signaling pathways, and super-enhancers are also found in differentiated cells and are relatively insensitive to reduced levels of enhancer-bound factors and cofactors.

20691899

770

PubMed

PMC

Direct reprogramming of fibroblasts into functional cardiomyocytes by defined factors.

Ieda M, Fu JD, Delgado-Olguin P, Vedantham V, Hayashi Y, Bruneau BG, Srivastava D Cell. 2010 Aug 06;142(3):375-86.

experimental procedures (Kitamura et al., 2003; Takahashi and Yamanaka, 2006). The pMXs-DsRed Express retrovirus infection in cardiac fibroblasts resulted in >95% transduction efficiency (Hong et al., 2009).

20691899

770

PubMed

PMC

Direct reprogramming of fibroblasts into functional cardiomyocytes by defined factors.

Ieda M, Fu JD, Delgado-Olguin P, Vedantham V, Hayashi Y, Bruneau BG, Srivastava D Cell. 2010 Aug 06;142(3):375-86.

introduction The ability to reprogram fibroblasts into induced pluripotent stem (iPS) cells with four defined factors might address some of these issues by providing an alternative source of embryonic-like stem cells (Takahashi and Yamanaka, 2006; Zhang et al., 2009). However, generating sufficient iPS-derived cardiomyocytes that are pure and mature and that can be delivered safely remains challenging.

20691899

770

PubMed

Direct reprogramming of fibroblasts into functional cardiomyocytes by defined factors.

Ieda M, Fu JD, Delgado-Olguin P, Vedantham V, Hayashi Y, Bruneau BG, Srivastava D Cell. 2010 Aug 06;142(3):375-86.

この論文を引用している著者は、これらの論文も併せて引用しています。

発展的な使い方

- ftpでデータベースのダウンロードが無料で可能
- APIにより利用者の開発したプログラムから検索可能
 - REST / SPARQL
 - <http://colil.dbcls.jp/>

SPARQLクエリ例

```
prefix colil: <http://purl.jp/bio/10/colil/ontology/201303#>
prefix bibo: <http://purl.org/ontology/bibo/>
prefix dc: <http://purl.org/dc/elements/1.1/>
prefix doco: <http://purl.org/spar/doco/>
prefix togows: <http://togows.dbcls.jp/ontology/ncbi-pubmed#>
prefix rdfs: <http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#>
prefix rdf: <http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#>
select ?ctpmid ?title ?authors ?source ?year ?section ?ctpmcid ?comment (count(?ctctpmid) as ?citedBy) where {
  {select * where {
    ?context colil:mentions ?pmid_uri;
      rdf:value ?comment.
    ?secnode doco:contains ?context;
      dc:title ?section.
    ?citing doco:contains ?secnode;
      rdfs:seeAlso ?ctpmuri.
    ?ctpmuri rdf:type colil:PubMed;
      colil:Authors ?authors;
      togows:dp ?year;
      togows:so ?source;
      togows:ti ?title;
      togows:pmid ?ctpmid.
    VALUES ?pmid_uri { <http://purl.jp/bio/10/colil/id/23193287> }
  } order by DESC(?year) offset 0 limit 20}
  optional {?citing colil:pmcid ?ctpmcid.}
  optional {
    ?ctciting doco:contains / doco:contains / colil:mentions ?citing;
    rdfs:seeAlso [
      rdf:type colil:PubMed;
      togows:pmid ?ctctpmid ].}
  }
}
```

被引用論文を指定

PubMed IDを直接入力するか、PubMed検索の結果を利用することができます。

PubMed IDを入力

10582235

Search

E 5144/2347-1-2018

Authors' Comment What do other papers say about a paper?

The Protein Data Bank.

Berman HM, Westbrook J, Feng Z, Gilliland G, Bhat TN, Weissig H, Shindyalov IN, Bourne PE. Nucleic Acids Res. 2000 Jan 01;28(1):235-42.

http://colil.dbcls.jp/

ンを押してください。

colil

検索

関連論文

(PubMedを表示)

- 541 Gapped BLAST and PSI-BLAST: a new generation of protein database search programs.
PubMed

- 305 Dictionary of protein secondary structure: pattern recognition of hydrogen-bonded and geometrical features.
PubMed

- 284 Basic local alignment search
PubMed

PMC

introduction

This impediment has been aggravated in recent years due to UniProtKB/TiEMBL with a solved protein structure in the PDB. The percentage of protein sequences in UniProtKB/TiEMBL with a solved protein structure in the PDB increased from 0.0% to 0.6% by the end of 2009; this number was 2% in 2004 and 1.2% in 2007.

17452350

933

PubMed

MolProbity: all-atom contacts and structure validation for proteins and nucleic acids.

Davis RW, Leaver-Fay A, Chen VB, Block JN, Kapral GJ, Wang X, Murray LW, Arendall WB 3rd, Snoeyink J, Richardson JS, Richardson DC. Nucleic Acids Res. 2007 Jul;35(Web Server issue):W375-83.

PMC

introduction

They are best when determined at high resolution or with many restraints per residue, but even then are not perfect: nearly all structures in the Protein Data Bank (PDB) have a few local errors, such as backwards-R branched sidechains, flipped amides and imidazoles, incorrect sugar pucker, misoriented ligands, misidentified 'waters' and local errors in chain tracing.

163315716

L-TASSER: accurate for protein 3D structure prediction

動画チュートリアル(統合TV)

[文献検索][DBCLS] Colilを使って論文の引用情報を検索する

Colilは、生命科学分野の文献間の引用関係を検索・閲覧できるサービスです。ある論文について、他の論文が本文中でどのように引用し記述しているかを、効率的に調べることができます。

検索例やデータの詳細については、[Colil Data Portal](#)にまとめられています。

※動画にはBGM音声が付与されていますので、閲覧の際にはご注意ください。

[YouTube版はこちらです。](#)



Generated by CAMTASIA STUDIO 7

<http://togotv.dbcls.jp/20150207.html#p01>



ライフサイエンス統合データベースセンター

Questions?

yy@dbcls.rois.ac.jp



@yayamamo